

未来重視。



FRONT INTERVIEW

フロントインタビュー：日本を担う若手たち

ロボットクリエイター 高橋智隆さん
和楽器演奏ユニット Rin'

特集1：

●人事訪問2007

伊藤忠商事株式会社
東京急行電鉄株式会社
東京電力株式会社
日本放送協会 (NHK)
ハウス食品株式会社

特集2：

●学生生活特集

我が道を行く！
学生生活を120%
楽しむための方法2007

▶ 紀伊國屋書店店舗紹介

ロボットクリエイター 高橋智隆さん

15年後には、一家に一台のロボットが

「本日はよろしく申し上げます。今度こそロボット製作の第一人者である高橋さんですが、最初の大学時代、立命館大学では文系学部のご出身だったそうですね。」

ええ。私が高校生だった頃は、パブルの影響もあって、理系の学生でも金融機関などに多く就職する時代でした。当時の経済状況下では、コッコツ

と物を作ることが軽視される傾向にあったんですね。そういった時代背景もあって、文系学部に進みました。当時はロボットを作るなんて全く考えていなかった。ただ、昔から物を作るのは好きだったので、就職活動ではメーカーの開発を志望しました。釣りやスキーが趣味というのもあって、レジャー用品などを作っているメーカーを中心に受けましたね。釣具メーカーの面接では、手作りのリールを持参したりしました。

それが一転して、京都大学の工学部を受験することに。

就職活動を通して、自分は本当に何をやりたいのだろうと、初めて自分の人生について真剣に考えて。そこで、自分の原点はやはり物作りだと思い、京都大学の工学部を目指すことにしました。

受験勉強は辛かったのではと聞かれますが、大人の趣味として楽しんでいました。社会に出て仕事をしていると強く感じるのですが、自分の能力をアピールし、他人に理解してもらおうのって、ものすごく大変なんです。その点、

学歴は自分のポテンシャルを公的に証明できる最も手軽な手段だと思うんです。そういった意味で、仕事をしていて京都大学卒という肩書きがあって良かったと感じることは少なくないですね。

京都大学在学時に、一人でロボットを作り始めたということですが、きっかけはなんでしょう。

ロボットと車が好きだったので、どちらかを専門でやろうと考えていました。ロボットの分野は将来どんな伸びていく未開の産業だと思ったので、ロボットを選びました。

自分でロボットを作った理由のひとつに、時間に余裕があったというのがあります。一般教養科目は、立命館大学時代の単位を流用できたんです。その余った時間を使って、ロボットの自主製作に取りかかりました。当時はまだロボットというものがまともに二足歩行出来ない時代でした。私は、アニメーションなどのキャラクターが動けば楽しいだろう、ぐらいの趣味的な視点でロボットを作りました。そこで思いついたのが「電磁吸着二足歩行」



のアイデアです。足の裏につけた電磁石を交互にオン・オフと切り替えることにより、鉄板に張りつけて歩かせようというものです。この「電磁吸着二足歩行」のアイデアで、特許を取得しました。ガンダムのプラモデルで作った「二足歩行ザク」。これが自主制作ロボットの第一号でした。

京都大学在学中に、ロボ・ガレージとして起業しようという気持ちはあったのですか。

当初は、就職しようと思っていました。ですが、ロボットを作って特許を得たり、企業と提携し自分のロボットが販売されたり、様々なコンテストにロボットを抱えて出場し賞金をもらったりと、ロボット製作を通じてベンチャーの真似事のようなことをやっているうちに、考え方が変わってきたんです。ロボットを好きなように作るには、起業するのがいいのでは、と思うようになりました。大学が産学連携を進めていたことなど、起業を後押しするような背景もありましたし。それに、実際あの時に就職しても、同期の新卒社員よりも5歳も上。このまま就職したから、ただ人生を遠回りしただけになるのでは、という思いがありました。

そして、ロボ・ガレージを設立したわけですね。

ええ。周りの生徒は大学院に進んだり、就職したりといった中で、私は卒業後に起業することを決意しました。お世話になった教授のお陰もあり、京大ベンチャーインキュベーション（大学内入居ベンチャー）の第一号として、京都大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー（VBL）の一室を使わせてもらうことになりました。

ロボ・ガレージは、高橋さん一人で運営なさっているそうですが、どのような会社なのですか。

私の作るロボットに共感してくださった企業の方たちから依頼を受け、ロボットを共同開発したりしています。ただ、根底にあるのは私個人によるオリジナルロボットの開発ですね。ロボ・ガレージにとって特に大きかったプロジェクトは、クロイノという二足歩行型ロボットの製作です。従来のロボットは、中腰で膝の曲がったままの不自然な歩行姿勢のものでしたが、「SHIN-Walk」という、ロボットが軸足をしっかり伸ばした姿勢で歩くことのできるシステムを開発したのです。クロイノは、この「SHIN-Walk」の実証機だったんです。クロイノは海外でのデモンストレーションにおいても、大きな反響を得ました。

私一人でロボットを作る分には、設計図もありません。設計図は複数の人で分担して仕事をする際に必要なもの

だと思っていますから。ロボ・ガレージが目指しているヒューマノイド型ロボットのデザインは、従来の工業手法の範疇を越えた専門的な部分が多くあります。一人だからこそできることもある。大企業ではできないようなロボット製作を、ロボ・ガレージが挑戦していけたらと思います。

海外においてもそのロボット製作技術が注目されている高橋さんですが、日本のロボットと欧米のロボットの違いを感じますか。

ロボットに対する考え方が違いますね。日本では、ロボットは機械的な要素と人間の要素をバランス良く併せ持った存在であると考えられています。それに対し欧米では、ロボットは「原始的」である機械か、もしくは「人間を超越し支配する」アンドロイドか、両極端な二通りに分けられる傾向にあると思います。その違いの原因は、それぞれの文化にあるのではないのでしょうか。日本には鉄腕アトムやドラえもんといったアニメーションがあった。そうした空想上のロボットたち



和楽器演奏ユニット
Rin'

—皆さんは東京藝術大学の同窓生とお聞きました。どのような学生時代を送っていたのでしょうか。

Manaさん…ずっと音楽漬けでした。それぞれの専門をみっちり深める大学なので、サークル活動も盛んではなかったです。入学式のサークル勧誘とかもなく。

Tomocaさん…その分、学科の友人とは深く付き合うことができました。邦楽科は33人しかいなかったから、ひとつのクラスのようにでした。ManaとChieがお琴（琴）で、私が尺八の専門です。箏と尺八と一緒に演奏することが多かったため、二人とは自然と仲良くなりましたね。

—学生時代から、「この三人で音楽をやりたい」と考えていたのですか。

Chieさん…いえ、当時は全く考えていませんでした。日々の課題に追われてそれどころではなかった。（笑）でも、音楽に携わる仕事をしたい、という思いは強くありました。

Manaさん…うちの大学は、専門以外に就職をする人がほとんどいないです。

Tomocaさん…東京藝術大学を選んだ時点で、音楽以外の職業は考えていなかったですね。

Chieさん…教師になる人も含め、自分の専門に携わる仕事に就く人がほとんどです。私たちも卒業後、演奏会などで各地を回りました。そういう意味でもとても特殊な大学ですね。

Manaさん…本当に個性的な大学でしたね。

Tomocaさん…私は着物で山の手線に乗りました。試験を受ける時は着物でなければならなくて。尺八の譜面を必死に見ながら、着物で電車に乗る大学生はなかなかいないでしょう。尺八の譜面は筆の文字で書かれていてお経のようなので、周囲の人からは不思議な目で見られました。（笑）

—やはり芸術に長けている学生が多く集まるだけあって、個性的な大学ですね。

和楽器の素晴らしさを世界中に広めていきたい



が日本人のロボット観に及ぼした影響は計り知れません。私自身も、アトムに受けた影響は絶大で、それは私の作ったロボットを見ていただければわかると思います。

最近では日本のアニメーションが海外に輸出されることも多く、欧米のロボット観も変わってきているかもしれません。アニメーションを始めとするコンテンツ産業と、機械産業は、日本が世界に誇る分野であり、実はロボットはその両方を含んでいる。実物のロボットが欧米で日本文化として受け入れられ、やがて大きな輸出産業になると思っています。

—ロボットが果たす役割は日増しに大

きくなっていくと思います。この先、ロボットはどうなっていくのでしょうか。

15年後には、一家に一台ロボットがいる時代になっていると思いますよ。人間とコミュニケーションがとれて、その一方で、人間と機械との橋渡しをしてくれるようなロボットが生まれてくるかもしれない。

個人的に、何かの特定の目的の為にロボットを作るのには抵抗があります。そうではなくて、今は思いつかないような、全く新しい使い道が生まれてくるのが期待できるようなロボットを作りたいと思っています。パソコンも携帯電話も、ポテンシャルと自

由度の高い製品を基に、ユーザーの手によって新しい使い方とそれに伴う文化を生んできました。同じように、機能ありきではなく、親しみやすいロボットが多くの人の手に渡ることによって、今まで想像しなかったような新しいロボットの概念が生まれるのではないかと思います。ロボ・ガレージが目指すところは、その機能に関わらず一緒に暮らしたいと思えるような、魅力的なロボットを作ることです。

—ロボットと共に生活する時代、楽しみです。ただ、近年、子供の理科離れが叫ばれているのが不安です。日本の理系教育の欠点はなんですか。

大学教育に限って言えば、「縦割り」などでしょうか。ロボット製作を例に挙げても、電気、情報、デザイン、様々な分野の横断的な知識が必要で、しかし、現状の日本の大学では、多くの分野を総合的に学ぶことが難しい。また、論文を重視するあまり、「実際に作ってみる」機会が少ないです。手を動かす、何かを生み出すことによって、自分の頭の中にあるアイデアを顕在化させることができます。若い学生の皆さんには、「実際に手を動かし、何かを作れ」と言いたいですね。

また、ロボットは子供の理科離れを防ぐのに非常に有効なアイテムです。勉強との繋がりがビジュアルイズされているため、科学分野への興味のきつ

かけとして最適です。ロボットクリエイターの活動は、子供から大人まで「多くの人にロボットを知ってもらおう」という意義もあるのです。

【取材…笠井淳史 御手洗久子】

■高橋智隆さんプロフィール

日本を代表するロボットクリエイター。1998年、立命館大学産業社会学部卒。その後、1年の浪人期間を経て京都大学工学部物理工学科入学。2003年、京都大学構内のベンチャー・ビジネス・ラボラトリーに、個人事務所ロボ・ガレージを設立。当時としては初の学内入居ベンチャー。代表作クロイノが米TIME誌で「最もクールな発明」に選ばれ、ポピュラーサイエンス誌では「未来を変える33人」に選ばれる。代表作に「クロイノ」「FT」「VisiON」「マノイPF01」など。著書に「ロボットの天才」（メディアファクトリー）。



必死な学生でしたね。(笑)

「専門に特化した学生生活だったのです。現在のRin'さんとして持っているしやる「和楽器をもっと多くの人に広めたい」という意識は、大学時代からあったものなのです。」

Tomocaさん「和楽器をもっと多くの人に広めたい」と思い始めるきっかけとなったのは、私が19歳の時、ある美術系の高校に尺八と琵琶を演奏しに行ったことです。和楽器を知らない高校生に、実際の音を体験してもらいたかったんです。演奏する前は、ちゃんと伝わるのかな、昔の楽器だから恥ずかしい思いをするんじゃないかな、と不安でしたけれど、高校生の反応は予想以上でした。「すごくかわいい!」とか、「ロックじゃない!」とか。古典を演奏するのにロックって言われるなんて思ってもみなくて。この演奏を期に、自分の楽器で何ができるか考えるようになりました。若い人たちに教えられましたね。

Chieさん「二人のライブに行くと、感銘を受けました。私は、誰もやったことのない、誰にも真似できない音楽を作りたい、という気持ちが強かった。二人の演奏を聞いた瞬間、これだ!と思いましたね。」

Manaさん「和楽器を知らない方々の反応って、私たちの想像以上なんです。私たちは小さい頃から和楽器に触れているので、すでにそれが日常となっているのですが、一般の方はとても新鮮に聴いてくださいます。そういう方々の生の反応に出会うと、もっと和楽器を広めなきゃ!という思いに駆られますね。」

Chieさん「大学には、常人には理解できないような斬新な音楽を目指す人もいたけれど、私はもっと身近な音楽を作りたいと思っていました。日本人の生活と共に伝えられてきた和楽器を、私たちが次の世代にも伝えていきたいという気持ちがありました。」

「そういったモチベーションが下地となって、今があるのです。そして、卒業後にデビュー。デビューの経緯などお聞かせください。」

Manaさん「最初は、私とTomocaの二人で、ライブ活動をしていました。既存のポップスを邦楽風にアレンジした曲をやっていた、当時はサラサというユニット名でした。そんな時、Chieが私たちのライブを見に来てくれたんです。」

Chieさん「二人のライブに行くと、感銘を受けました。私は、誰もやったことのない、誰にも真似できない音楽を作りたい、という気持ちが強かった。二人の演奏を聞いた瞬間、これだ!と思いましたね。」

Manaさん「Chieが加入し、Rin'になってからは、よりポップスの要素を加えた、より新しい音楽を目指すようになりました。その分、レコーディングは大変でした。まず、プロデューサーさんに和楽器の説明をすることから始めなければなりませんでした。」

Chieさん「前例のない音楽をやっているから、参考にするものがないんです。特に、邦楽とポップスの「間」の違いには戸惑いました。」

Tomocaさん「ただ、苦労した分、曲が形になってくるのがとても楽しかったです。新しい曲ができると、早くレコーディングしたい!と思いました。」

「結成当初から上海・ニューヨークでライブを行うなど、国内のみならず海外でのライブも勢力的にこなしています。海外でのライブの反応は、日本とは違いますか。」

Manaさん「ええ、違います。中国でのライブは、とても暖かく迎えられるのがあったのかもしれない。お客

さんは楽器を間近で見ようとして、私たちとの距離がすごく近い。

Tomocaさん「それと、表現力が豊かですね。日本人は静かに演奏を聴き入ったりするけれど、中国の方は全体を使って感動を表現していました。あと驚いたのは、勝手に写メールを撮ったりしていたこと。(笑)文化の違いって面白いなあと思いました。」

Chieさん「逆にアメリカの方々、和楽器を知らないから最初は怪訝な顔をしているんです。でも、いざ演奏が始まると...」

Tomocaさん「みんな踊りだす。(笑)

Manaさん「和楽器の演奏で踊るなんて、日本では考えられないことですよ。私たちの音楽で踊れるんだ、という新しい発見がありました。」

「音楽を通して、日本と世界とを繋ぐ架け橋になっているのです。」

Chieさん「音楽をやっていて良かったことのひとつは、色々な国々に行けることです。音楽を通してコミュニケーションできるのも、和楽器の存在は非常に大きいです。」

Tomocaさん「和楽器がなければ、

ここまで現地の方と繋がることはできなかったでしょう。海外に行った方が、自分が日本人であるということにより意識します。日本人で良かったなあ、と思いますね。」

「和楽器とポップスの和洋折衷など、様々なチャレンジをしてきたRin'さんですが、今後のビジョンを教えてください。」

Manaさん「やはり、和楽器の素晴らしさを、今以上に世界中に広めたいです。」

Chieさん「他の国の民族音楽とコラボレーションしてみたいですね。南米とかアフリカとか、独自の音楽を持っている国でセッションしたいです。」

Tomocaさん「音楽的なことを言えば、和楽器の音を大事にしたいです。今までポップスの「間」に戸惑っていた部分があったのですが、逆に邦楽古典の「間」をポップスの中に引き込むことができたらいいなあと思っています。」

Chieさん「歌詞にしても、古典が持つ美しい表現を大事にしていきたいです。」

Manaさん「確かに最近では、日本語本来の美しさが失われている気がし

ます。好きな人に、ただ「好き」と言うだけでは味気ないですよ。古典では情景を使って感情を婉曲的に表現しますが、そのような奥ゆかしい、美しい表現を大切にしたいです。」

Tomocaさん「新しいことにもどんどんチャレンジしたいですね。私たち全員に共通する長所は、考え方が柔軟なところです。色々と試行錯誤して、良いものはどんどん取り入れてコラボレーションしていきたいです。」

「現状に満足することなく、挑戦し続けていくことが大事ですね。最後に、日本の学生に一言お願いします。」

Manaさん「日本人であるということの自覚を持つてほしいと思います。海外に行く时必须、「あなたの国の文化はなんですか」と聞かれます。相手の国を知るだけでなく、自分の国を知ることが大事だと思います。」

Tomocaさん「失敗を恐れないことです。私たちは前例のない音楽をやっているんです。失敗してわかることも沢山あります。チャレンジできる勇気があれば、世界はどんどん広がっていきますよ。」

Chieさん「学生さん、どんどんチャレンジしてください。」



■Rin' プロフィール

東京芸大同期卒の女性和楽器演奏家3名が、箏、十七絃、琵琶、三絃、尺八といった日本の伝統楽器の音色に、様々なアレンジ、POPな音楽のメロディー要素を加えることで、新たな伝統音楽・文化の世界を創造している和楽器ユニット。日本だけでなく、アメリカ、フランス、メキシコ、中国等、世界各地でライブ活動を展開中。

特集 人事訪問 2007

伊藤忠商事株式会社
東京急行電鉄株式会社
東京電力株式会社
日本放送協会 (NHK)
ハウス食品株式会社
※ 五十音順

就職活動の第一歩は企業研究から。とは言うものの、企業研究って何をどうすればいいのかわからない!…そんな時は、自分が興味のある企業の社員の方に直接お会いしてみることです。今回は、様々な業種の人事ご担当者にインタビューに行きました。企業はどういった視点で学生を見ているのか、また、憧れのあの職場の雰囲気は実際どんなものなのか。探ってみました。

取材 笠井淳史 斎藤景介 澤村美菜 櫻庭章浩 井上万里枝 湊祥 石野将大 村田菜美



高橋智隆さんの代表作
「クロイノ」



紀伊國屋書店
ブックセンターニュース
第13号

INDEX

2 フロントインタビュー：日本を担う若手たち

- 2 …… ロボットクリエイター 高橋智隆さん
- 5 …… 和楽器演奏ユニット Rin'

9 特集1・人事訪問2007

- 10 …… 伊藤忠商事株式会社
- 12 …… 東京急行電鉄株式会社
- 14 …… 東京電力株式会社
- 16 …… 日本放送協会 (NHK)
- 18 …… ハウス食品株式会社

21 特集2・学生生活特集

我が道を行く! 学生生活を120%楽しむための方法2007

- 22 …… 自転車で旅する学生
- 24 …… 国際交流に励む学生 (日本エチオピア学生会議の皆さん)
- 27 …… 地域交流に励む学生 (まっちワークグループ早稲田の皆さん)
- 30 …… 難関資格取得を目指す学生

32 紀伊國屋店舗紹介

- 32 …… 紀伊國屋書店ららぽーと横浜店
- 34 …… 紀伊國屋書店ブックセンター一覽・編集後記

伊藤忠商事株式会社
榎田吉之さん

平成19年4月入社 人事部人材戦略室配属



企業を愛する心が、
ヒトを育て、
企業の成長となる

「本日はよろしくお願ひいたしました。伊藤忠商事の社風はどのようなものでしょうか。」

よろしくお願ひします。弊社の社風について特徴的なものを四点紹介いたします。

まず一つ目は、「若手に大きな仕事を任せろ」というものです。実は私は入社してまだ数ヶ月なんです。そんな私が、会社の顔としてセミナーのプレゼンター等といった今年の新卒採用を主軸として任されているのです。小林社長はよく「起業家を育成するには1年目から責任ある仕事をどんどん任せろべき」と言っています。ここに伊藤忠商事の若手を躍進させようという思いが見えるのではないのでしょうか。

二つ目は、「先見性と新しいことに飛び込むスピード」です。弊社は1972年に中国から日本で初の友

好商社として認定されました。日中友好条約が結ばれる以前より中国市場の成長性に目をつけ、積極的に投資し続けた結果ではないでしょうか。伸びると睨んだ分野にはリスクをとりながら積極的に踏み込んでいく、これが伊藤忠商事の社風です。

三つ目は、「自由闊達」ということです。「声なきは会社に対する反逆である」というのは丹羽会長の言葉で、会議で何も意見を言わず座っていることは会社に何ももたらしてないことと同じ、ということですね。

これを象徴するエピソードがあります。私が新入社員研修を終え、初めての会議に参加した時のことです。先輩から唐突に、「榎田、お前はどうか思う？」と意見を求められたのです。もちろん丹羽会長の言葉を知らなかったわけではなかったのですが、入社1年目の私に意見を求められるとは思っていませんでした。とても驚きました。伊藤忠商事では、フレッシュな着眼点を持つ若手の意見に耳を傾ける自由さと柔軟性があります。

最後は、「二対一では負けない戦う集団」です。これは小林社長がよく使う言葉で、ビジネスに取り組みむ上で、絶対に負けないという熱い思いを持って、仕事を愛し、そして奢ることなく挑戦し続ける姿勢を大事にしようということですね。小林社長は人間を「挑戦をした結果、成功し

た者・失敗した者」、「挑戦をせず、成功した者・失敗した者」の4つにタイプに分け、前者の2つの人間をより評価すべきとし、挑戦する姿勢の大切さを説いています。

「とても積極性のある会社なのですね。総合商社と言うと、海外まで幅広く事業を展開していると思うのですが、具体的にはどのような人材を求めているのですか。たとえば、語学力に富んでいる学生だとか。」

特に「こういう能力のある人材が欲しい」といった一律な定義は定めていません。というのも、事業分野が多岐にわたる総合商社において、物事を一方向だけからではなく、様々な側面から捉えることのできる人材を必要としているからです。ただ私としては、自分の選択、行動に一貫性があり、それに対して絶対的な自信を持っている方、信じてそれをやり抜いてきた方には自然と魅力を感じます。

そして、やはり伊藤忠商事を愛して下さる方に来ていただきたいと思っています。ホームページから得ることのできる情報は限られています。今後セミナーなどに積極的に参加し、伊藤忠商事とそこにいる「ヒト」のことをよく知った上で、共感し、弊社を愛して下さる方と仕事をしたいと思っています。

「伊藤忠商事は宇宙・情報分野から食品分野まで本当に多くの事業に携わっていますが、面接時には具体的に自分がどの分野で働きたいという心意気を示したほうが良いのですか。」

必ずしもそうとは言えません。まず伊藤忠商事の新卒採用方式には、配属先決め方式と一般採用方式の二つの採用方式があります。配属先決め方式は、7つのカンパニーと総本社から自分の希望する配属先を予め申告し選考を受けていただく形式で、内定時点で自分が配属されるカンパニーまでが決まります。特定の事業に興味をお持ちの方、得意分野・専門知識をお持ちの方に応募いただきたい採用方式です。ただ、この方式は専門性採用ではありませんで、希望分野への興味や強いこだわりを面接の場で熱く語っていただけだと思います。

一方で、ビジネスの分野にはこだわりがない、あるいは応募の段階では、ひとつに絞ることが出来ないという方は、「一般採用方式」でご応募いただけます。この場合は、内定後に本人の適性と希望に基づき配属を決定します。私もこの一般方式で受験をし、人事部への配属となりました。

「榎田さんが伊藤忠商事を志望された理由をお聞かせください。」

私が伊藤忠商事への入社の決め手は、「ヒト」と「グローバル」という2つのキーワードです。世界を股にかけて活躍したい！という漠然とした想いから総合商社を始め、様々な企業を受験しました。その選考会場で私は企業の「ヒト」を見ていました。面接という、企業に審査される場というネガティブなイメージがあるかと思いますが、しかし面接という場は学生の目で企業の間人を観察する絶好の機会です。伊藤忠商事の面接官は私が言ったこと一つ一つに対して、「君の言いたいことはこういうことだね」や「それを言いたいんだったらもっとこういう言い方をした方が伝わるよ」など、丁寧にフィードバックやアドバイスをくれたのです。私はこのような面接を通して、伊藤忠商事の人を大切にすることを意識しました。私が伊藤忠商事への入社を決めた理由は、伊藤忠商事の、常に人を大事にし、育てようとするマインドを社員一人一人が持っているところに共感したからです。

総合商社は「ヒト」が財産という業界です。私は人事を担当していますが、会社の財産である「ヒト」をマネジメントする現在の仕事にはとても大きなやりがいを感じています。

「商社という男性的なイメージがあるのですが、女性が働く環境というのは整っていますか。」

2003年度に「人材多様化推進計画」を打ち出し、女性はもちろんのこと、性別・年齢・国籍を問わず、多様な人材が能力を最大限発揮し活躍できる環境を整えるべく、施策を打っています。

具体的には、2004年度に「メンター制度」を導入。女性経営幹部育成に加え、若手女性社員へのロールモデルの提示、出産等に伴う女性特有の悩みに対する相談に積極的に対応することで、女性が働く上での不安を解消しようとすることを目的としています。

「日本企業の海外進出が進んでいく中で、総合商社のこれからの展望をお聞かせください。」

激しく変化し続ける社会環境の中で、総合商社は確実にイニシアチブをとっていくでしょう。ある商品を例にとると、その商品を販売する企業はその商品を販売したところで商活動が終了します。しかし我々はその商品に端を発し、流通やITを駆使したネットワークの構築、更には消費者と直接接する販売店の経営への関与など、新たなビジネスモデル

を描く豊富なノウハウと人材を擁しています。このように変化が激しさを増し、経済や社会の仕組みが複雑化するほど、広範な分野で多角的にイニシアチブを発揮できることが商社の強みであり、今後は更に活躍の場が広がっていくと思われれます。

その中で弊社は、創業者である伊藤忠兵衛が掲げた「売り手よし、買い手よし、世間よし」で現わされる「三方よし」という経営理念のもと、真の世界企業を目指し、挑みます。

「最後に、この伊藤屋ブックセンターニュースを読む学生に伝えたいメッセージはありますか。」

学生時代には皆さんに「これだ！」という何かを見つけ、追い求めていただきたいと思っています。決して受身にならず、「主体性」をもって日々の生活を過ごし、選考の場で思う存分自分の大切にしてきたものについて語って下さい。

今後セミナーや選考等様々な場面でお会いすることがあると思います。皆さんの「熱い気持ち」に少しでも多く触れられることを楽しみにしています。

【取材：村田茉莉】

東京急行電鉄株式会社 石橋達也さん

平成15年入社 経営統括室 人事企画部配属



移動する手段だけでなく、移動する目的を提供している

—東急電鉄に入った理由は何ですか？

より多くの人々の生活に影響を与えられる仕事、新しい価値観を提供できる仕事を探していました。そういった観点から、就職活動の際にはダイベロップ（都市開発業者）と鉄道会社を中心に受けました。

特に鉄道会社は、家や建造物などを作って終わりではなく、どのように街と調和させ、どれだけ沿線の価値を高めることができるか、という、その後の長い年月を見据えて長期的に事業を考えられることが大きな特徴であり、そこに興味を持ちました。その中でも、東急電鉄を選んだ理由は、長年に渡って街づくりを手がけてきた歴史があり、その結果として洗練されたブランドイメージがあったからです。

—鉄道会社に勤めていてやりがいを感じる時は、どのような時ですか？

「自分が生活する中でも「東急」という名前をよく聞いたり、目にしたりすることがあるので、私たちが提供しているサービスがお客様の生活に密接に関わっているということをよく実感します。「東急」という名前が広くお客様の間で浸透しているということは、それだけ私たちの仕事に責任と自覚を持たなければならぬということでもありません。

鉄道会社にはローカルなイメージがあるかもしれませんが、それは裏を返せば、お客様の日常生活と密接に関わっているということです。生活に関わるのですから、大きな責任があります。その中で様々な切り口でサービスを提供することができれば、より豊かな生活を長期間に渡ってお客様に過ごしていただけていると思います。お客様の生活の幅広い部分で携わっていることは、大きなやりがいに繋がっています。

私は、今現在はお客様と直接接する機会が少ないですが、入社当初の現場配属で渋谷駅に勤務した時には、日々多くのお客様と接する機会があり、感謝の言葉をいただいたり、時には厳しいお叱りをいただいたりと、貴重な経験をさせていただきました。その時の経験は、今でもとても大切にしています。

—その現場研修は新入社員全員が経験しているのですか？

年によって異なりますが、今年の新入社員は全員経験しています。当社のどんな事業に携わるにしても、沿線に住むお客様がどういった方々なのかを知る必要があります。そのため、駅に立つのが一番ですからね。

—東急グループのスローガン「美しい時代へ」とはなんでしょ？

極端なことを言うと、東急グループの提供するサービスがあれば、それだけで一生、生活することができます。そのくらい事業領域が多岐に渡っており、様々な切り口からお客様の生活をトータルコーディネートして、その質を高めるための努力をしています。

東急グループは「美しい生活環境の創造」を実現するために取り組んでいます。人、社会、自然が調和する美しい社会の中で、お客様一人ひとりが幸せを感じ生活が豊かになるためのお手伝いをするのが私たちの使命ではないかと思っています。そして、お客様からいただく多様なご期待に応えていくためには、社員一人ひとりが「美しい時代へ」とはどんなことを考えていく必要があるか

—「美しい時代へ」の取り組みは昨年の年間輸送人員にも現れているか

と思います。私鉄全体としての年間輸送人員は減少しましたが、当社は昨年、年間輸送人員が初めて10億人を突破しました。「選ばれた沿線」になるための様々な取り組みが実を結んだのだと思います。鉄道会社が鉄道という移動手段をお客様に提供するのにももちろんですが、手段は目的がなくては使えません。当社は「街づくり」や「生活サービス」情報サービスを通じて移動する目的も提供しているのです。

—女性も活躍しているのですか？

当社の従業員約3400人のうち女性比率は男性の10分の1ほどですが、そのうちの2300人あまりは駅務係や乗務員・運転手といった鉄道専門職ですから、本社に勤務する社員では、もっと女性の割合が高くなります。実際、私自身は仕事場に女性が少ないと感じたことはありませんし、新入社員の女性割合も年々増えています。今年の内定者は3分の1が女性です。消費や流行は20、30代の女性から生まれることが多いと聞きますので、女性の持つ感性や考えを發揮できる場がとて増えていると思います。

—どのような学生が欲しいのですか？

当社の求める人材像は「プロデューサー人材」です。お客様にとっての価値を生み出す人材を当社では「プロデューサー人材」と定義しています。お客様にとっての価値を生み出すためには、新しいものや考え方に興味があることや、アンテナを張って世の中の流れを敏感に捉えることが大切です。また、そういったことを踏まえて、ご自身の価値観で積極的に行動することが求められます。

さらに当社の業務では利害関係者が多く中で、リーダーシップを發揮して周囲を巻き込んでいくことが必要になります。そのような中で、自分自身の考えを持っていて、それを相手にきちんと伝えることができる人。逆に相手の思っていることを汲み取ることができる人。相互間でコミュニケーションを取れる能力を持つている人がいいですね。

—噂で鉄道オタクは鉄道会社に入れないと聞きました。

そんなことはありません。社内には鉄道が好きな社員もいます。ただ、一言付け加えるならば、仕事とプライベートをきちんと分けていますね。誰しも自分の好きなものには思入れが出てしまうと思いますが、

—就職活動で一番大切なことは何ですか？

一言で言えば、労を惜しまないことです。企業研究や自己分析など大変だと思いますが、とことんやるのが大事です。結果がそれに伴わなくても、就職活動に対する満足度が全然違ってくるのだと思います。また、普段分かっていないつもりのご自身を見つめなおす良い機会にもなりますから、しっかり振り返って新しいご自身を発見してほしいと思います。

—最後に学生へメッセージをお願いします。

私自身を振り返ってみると、学生時代心がけていたことは、勉強でも遊びでも自分の興味・関心を持ったことに対して、積極的にアプローチするようにしていました。就職してから急に積極性が身に付くわけではないので、学生時代に培った習慣は仕事をしている今でも役に立っています。

—と聞きます。みなさんも、ご自身の強みになるものをぜひ発見してほしいと思います。

昨年くらいから、「売り手市場」という言葉をよく耳にするようになりました。私自身は就職氷河期と呼ばれた時代に就職活動をしたので、その頃の違いをよく感じます。今は、企業の対応が親切になっていて、欲しい情報は比較的容易に手に入ります。そこまで頑張らなくても結果が出てしまう可能性があるということです。ですが、就職活動の目的は、内定をもらうことではなく、働く場所を決めることです。突き詰めて考えなくても結果が出てしまうと、入社後に会社と自分の間にギャップを感じることはあるのではないかと心配です。就職活動は将来を決めることです。後悔しないよう精一杯力を出し尽くしてもらいたいと思います。ぜひ、頑張ってください。みなさんとお会いすることを楽しみにしています。

【取材：櫻庭章浩】

東京電力株式会社

採用の現場で仕事をされていて、最近の学生にどのような印象をお持ちですか。

一ノ瀬さん…ここ最近の学生を見ていると、コミュニケーション能力に富んだ学生さんが多いように感じます。それと、私の学生時代と比べて、皆さん非常に色々な経験をしていますね。例えば海外に留学に行かれるとか。留学などの派手な経験が採用に直接関係するわけではありませんが、学生時

代に様々な経験をし、そこで多くのことを学んで欲しいと思います。

一ノ瀬さん…入社後は現場第一線に入るので、すぐに自分のやりたい仕事ができないかもしれません。また、トラブル時には緊急事態に備えて万全の体制をとらなければならぬので、休日や夜間でも出社ということがよくあります。しかし、第一線で働くことを通して、電力会社が地域を支えているという意識や、ライフラインを守る使命感が自然に体に染み込んでいくのだと思います。

一ノ瀬さん…高品質の電気を安全に送り届けるという義務がありますので、まずは責任感があり、頼りがいのある人。また、複数の部門と連携して仕事をしていくことが多いので、チームワークでの仕事得意な人。そして、電力という公共のものを扱うという意味で、倫理観のある人。これらをベースに持っていて、その上で、競争に勝ち抜いていけるような変革型の人材であってほしいと思います。ただ、これら全てを兼ね備えた完璧な人なんてなかなかいないですよ。ですから、そのようなポテンシャルを感じさせる人を採用したいと思っています。面接では、その人が学生時代にどのような経験をさせてきて、また、課題にぶち当たった時、どのように考え行動したかを聞いています。結果はどうかあれ、そこから何を学んだかが大切ですよ。

一ノ瀬さん…ここ最近の学生を見ていると、コミュニケーション能力に富んだ学生さんが多いように感じます。それと、私の学生時代と比べて、皆さん非常に色々な経験をしていますね。例えば海外に留学に行かれるとか。留学などの派手な経験が採用に直接関係するわけではありませんが、学生時

代に様々な経験をし、そこで多くのことを学んで欲しいと思います。

一ノ瀬さん…高品質の電気を安全に送り届けるという義務がありますので、まずは責任感があり、頼りがいのある人。また、複数の部門と連携して仕事をしていくことが多いので、チームワークでの仕事得意な人。そして、電力という公共のものを扱うという意味で、倫理観のある人。これらをベースに持っていて、その上で、競争に勝ち抜いていけるような変革型の人材であってほしいと思います。ただ、これら全てを兼ね備えた完璧な人なんてなかなかいないですよ。ですから、そのようなポテンシャルを感じさせる人を採用したいと思っています。面接では、その人が学生時代にどのような経験をさせてきて、また、課題にぶち当たった時、どのように考え行動したかを聞いています。結果はどうかあれ、そこから何を学んだかが大切ですよ。

一ノ瀬さん…高品質の電気を安全に送り届けるという義務がありますので、まずは責任感があり、頼りがいのある人。また、複数の部門と連携して仕事をしていくことが多いので、チームワークでの仕事得意な人。そして、電力という公共のものを扱うという意味で、倫理観のある人。これらをベースに持っていて、その上で、競争に勝ち抜いていけるような変革型の人材であってほしいと思います。ただ、これら全てを兼ね備えた完璧な人なんてなかなかいないですよ。ですから、そのようなポテンシャルを感じさせる人を採用したいと思っています。面接では、その人が学生時代にどのような経験をさせてきて、また、課題にぶち当たった時、どのように考え行動したかを聞いています。結果はどうかあれ、そこから何を学んだかが大切ですよ。

幅広いフィールドで働けるところも特徴です。働く中で自分に合った仕事、自分の可能性を発見できたいです。

一ノ瀬さん…東京電力ではイタリヤ一國分と同程度の電気を昼夜間問わずお客様に送り届けています。世界で最も巨大な電気システムを動かすことができるというところは大変魅力なのではないかと思えます。私自身、この巨大な電気回路は一体どうなっているのだろうかという素朴な疑問が入社後のきっかけでした。

一ノ瀬さん…東京電力ではイタリヤ一國分と同程度の電気を昼夜間問わずお客様に送り届けています。世界で最も巨大な電気システムを動かすことができるというところは大変魅力なのではないかと思えます。私自身、この巨大な電気回路は一体どうなっているのだろうかという素朴な疑問が入社後のきっかけでした。

一ノ瀬さん…東京電力ではイタリヤ一國分と同程度の電気を昼夜間問わずお客様に送り届けています。世界で最も巨大な電気システムを動かすことができるというところは大変魅力なのではないかと思えます。私自身、この巨大な電気回路は一体どうなっているのだろうかという素朴な疑問が入社後のきっかけでした。

門脇さん…電気は私たちの生活に欠かせないものですが、その実体はあまり知られていないですね。空気と同じように、目に見えないものを繋ぐ仕事に、責任とやりがいを感じます。

門脇さん…電気は私たちの生活に欠かせないものですが、その実体はあまり知られていないですね。空気と同じように、目に見えないものを繋ぐ仕事に、責任とやりがいを感じます。

門脇さん…電気は私たちの生活に欠かせないものですが、その実体はあまり知られていないですね。空気と同じように、目に見えないものを繋ぐ仕事に、責任とやりがいを感じます。



東京電力株式会社
一ノ瀬貴士さん
労務人事部人材開発グループマネージャー
門脇有美さん
労務人事部人材開発グループ

目に見えないものを繋ぐ仕事

一ノ瀬貴士さん（写真右）
昭和60年入社し、配電部門に配属。多摩支店立川営業所、銀座支社勤務後、分散型電源の技術開発や海外コンサルティング業務に従事。パワードコム、KDDIへの出向を経て現職。

門脇有美さん（写真左）
平成13年入社し、営業部門に配属。電気料金のサービス業務に従事し、銀座支社、東京支店の勤務を経て現職。

一ノ瀬さん…広くお客様に省エネを呼びかけていますので、私たちも空調の温度は28度に設定し、こ

一ノ瀬さん…大きく分けると三つの仕事があります。まず一つ目は、発電・送電・配電・系統運用など、エネルギーシステムを構築し運用する仕事。二つ目は、エネルギーを通じてお客様と接する仕事。具体的には、オール電化住宅の推進やオフィスや工場などのお客様さまに対するトータルソリューションサービスのご提案、検針や停電時の原因調査などのサービス業務です。そして三つ目は、多様な業務の運営基盤を強化する仕事。幅広い事業を展開している東京電力の様々な取り組みやシステムをサポートし、事業の成長を促す仕事です。目には見えにくい業務ではありますが、24時間365日電気を絶やさないお客様に送り届けるため、社会の縁の下の力持ちとして日々努力しています。ま

一ノ瀬さん…大きく分けると三つの仕事があります。まず一つ目は、発電・送電・配電・系統運用など、エネルギーシステムを構築し運用する仕事。二つ目は、エネルギーを通じてお客様と接する仕事。具体的には、オール電化住宅の推進やオフィスや工場などのお客様さまに対するトータルソリューションサービスのご提案、検針や停電時の原因調査などのサービス業務です。そして三つ目は、多様な業務の運営基盤を強化する仕事。幅広い事業を展開している東京電力の様々な取り組みやシステムをサポートし、事業の成長を促す仕事です。目には見えにくい業務ではありますが、24時間365日電気を絶やさないお客様に送り届けるため、社会の縁の下の力持ちとして日々努力しています。ま

一ノ瀬さん…大きく分けると三つの仕事があります。まず一つ目は、発電・送電・配電・系統運用など、エネルギーシステムを構築し運用する仕事。二つ目は、エネルギーを通じてお客様と接する仕事。具体的には、オール電化住宅の推進やオフィスや工場などのお客様さまに対するトータルソリューションサービスのご提案、検針や停電時の原因調査などのサービス業務です。そして三つ目は、多様な業務の運営基盤を強化する仕事。幅広い事業を展開している東京電力の様々な取り組みやシステムをサポートし、事業の成長を促す仕事です。目には見えにくい業務ではありますが、24時間365日電気を絶やさないお客様に送り届けるため、社会の縁の下の力持ちとして日々努力しています。ま

一ノ瀬さん…大きく分けると三つの仕事があります。まず一つ目は、発電・送電・配電・系統運用など、エネルギーシステムを構築し運用する仕事。二つ目は、エネルギーを通じてお客様と接する仕事。具体的には、オール電化住宅の推進やオフィスや工場などのお客様さまに対するトータルソリューションサービスのご提案、検針や停電時の原因調査などのサービス業務です。そして三つ目は、多様な業務の運営基盤を強化する仕事。幅広い事業を展開している東京電力の様々な取り組みやシステムをサポートし、事業の成長を促す仕事です。目には見えにくい業務ではありますが、24時間365日電気を絶やさないお客様に送り届けるため、社会の縁の下の力持ちとして日々努力しています。ま

た、地域に根ざした活動として、小中学校の総合学習の時間を利用してエネルギー講座の開催や、地域行事の支援など、地域とのコミュニケーション活動も大切にしています。

一ノ瀬さん…元々電気工学を学んでいたのですが、世界で一番大きな電気回路を動かす東京電力の仕事に魅力を感じ、入社しました。入社してすぐは現場です。営業所で配電設備を設計する仕事を担当しました。その後、運用・事故担当の部門に配属され、上海や北京での海外コンサルタントの仕事などをを経て、現在の人事の部門に移りました。

一ノ瀬さん…元々電気工学を学んでいたのですが、世界で一番大きな電気回路を動かす東京電力の仕事に魅力を感じ、入社しました。入社してすぐは現場です。営業所で配電設備を設計する仕事を担当しました。その後、運用・事故担当の部門に配属され、上海や北京での海外コンサルタントの仕事などをを経て、現在の人事の部門に移りました。

一ノ瀬さん…元々電気工学を学んでいたのですが、世界で一番大きな電気回路を動かす東京電力の仕事に魅力を感じ、入社しました。入社してすぐは現場です。営業所で配電設備を設計する仕事を担当しました。その後、運用・事故担当の部門に配属され、上海や北京での海外コンサルタントの仕事などをを経て、現在の人事の部門に移りました。

一ノ瀬さん…日本首都圏である関東一円の方々がお客様となり、また、本当に色々な人が働いている会社ですので、多くの人と出会うことができるという魅力があります。私の場合、多くの方々と接することにより、自分自身の視野も広がったと感じます。

一ノ瀬さん…現在、電気自動車やPLC（コンセント）に挿すだけでインターネットと繋ぐことができるシステムなど、電気を活用した次世代システムの技術開発も続々と進められています。また、従来の火力・原子力発電に加え、太陽光発電や風力発電といった地球資源や環境を考えた再生可能エネルギーの開発・導入や普及支援なども進めています。電気にはまだまだ多くの可能性が残されているんです。

日本放送協会 (NHK) 塚原祐子さん

人事総務局 労務・人事室 主管

平成3年入局、経理局配属。その後、広島放送局、経営計画等を経て平成18年6月より現職。



社会に対する姿勢 が仕事と矛盾せず、 貫き通せる

— 本日はよろしくお願ひ致します。まずNHKで働くことについて伺いたいと思います。TV局だと新人はADから始めるというイメージが強いのですが。

NHKではADという制度はありません。例えば、1年生ディレクターでも、自分の番組提案が通れば自分がその番組の責任者です。もちろん最初は小さな企画からスタートして、3、4年かけて番組作りを学びながら大きな番組に挑戦していくのが普通ですが、それは年齢の問題ではありません。どれだけ自分の思いを持って企画を立て、取材し、説得できるかの能力次第ということだと思います。そういう意味ではチャレンジすればするほど認められる組織だと思います。

— 組織としてはどんな社風なのでしょう

人物像とはどういうものなのでしょう

— こういうカラーの人が欲しいというのではありません。もともと局内でも仕事によって個性の違う人がたくさんおられますし、NHKも変革の時期にあるので、どういった人に来て欲しいかと言えば、色々な人に先入観なく来て欲しいというのが一番の気持ちです。

— 敢えて求める人材の共通点をあげるとすれば、人が好きであることだと思います。どんな仕事でも人とのコミュニケーションは必要ですが、加えてNHKの場合、何をテーマにするにしても番組の一番の源は人間です。伝えたい相手も人間です。人間や社会の動きに興味がある人、なぜ？という好奇心と粘り強さを持っている人は向いていると思います。あとは、公共放送ですので社会貢献の意識を持っていることは大事ですね。

— そういった人物像を見るために面接時間はいつも長くとっています。

— ようか。

意外とフラットな組織だと思います。私がNHKに入って一番意外だったのは、上司のことを普通に名前前で呼ぶことです。改まった場合を除けば、部長とか役員も「〇〇さん」と呼ぶ、そんなささやかな職場です。以前はそれぞれの専門家集団が、与えられた仕事だけを集中してやるという雰囲気だったのですが、今はお客様のことを第一に考える上で、部署間同士がどんどん連携して業務に取り組んでいくことに積極的になってきたと思います。

— そうした社風にあって、NHKが目指す、番組作りの目標とは何でしょうか？ 民放とは違うのでしょうか。

ひとつひとつの番組の作り手としての一生懸命さは、民放も同じかと思えます。ただNHKが違うのは、いい番組を作りたいということにおいて、視聴率が最優先ではないことです。そして、番組編成全体として、報道やドラマや教育番組等も含め、お金になる・ならないではなく、様々な年代の視聴者のことを考え、色々な人の色々なニーズをきちんと汲み上げて、可能な限りそれに答えたいということだと思います。それを果たすことがNHKの意義であり使

— たいいて30分近くはお話しします

— 長いですね。長時間かけてどんな内容のお話をされるのでしょうか。

— 一番知りたいのは、付け焼刃ではない、その人の素の魅力です。例えばどんなきっかけで放送やジャーナリズムに興味を持ち、これからの人生でどう実現していきたいかについて、その人の一番素直な思いを自分の言葉で話してほしい。そうしたきっかけというのは、踏み込んで聞く一人一人絶対違うと思うんですね。面接は、学生さんが企業を選ぶ場でもありますが、飾らずにいいコミュニケーションができるようにじっくり時間をかけてお話ししたいと思っています。

— 最後に、NHKで働くことの魅力を聞かせて下さい。

— よく「パッチワークのような職場」という表現を使っていますが、NHK

命でもあります。

— 新聞などでNHKがネット配信をする計画を発表したことが話題になりましたが、今後の展望として、どうNHKは変わっていくのでしょうか。

— それはきっと経営の責任者から答えなくてはいけない質問ですね(笑)

— 今から5年間はちょうど地上放送がデジタルに切り替わる時期なのですが、そうした変革の中でこれからのNHKの新たなあり方を考えています。番組の作り方としては、昔と変わらず、NHKだからこそできる良い番組を作っていく制作力を持ち続けることが重要です。

— しかし一方で、今やお茶の間にテレビ一台だった時代とは違いますし、ネットやワンセグなど、サービスの手段も色々あります。従ってコンテンツの制作力は維持しつつも、その伝え方は時代に合わせて変えていかなければなりません。視聴者にとって手軽な方法で、豊かな情報を格差なくお届けできるサービスを実現することが、一番大事なことです。

— 例えば今取り組んでいることに、インターネットを利用して過去の番組をオンデマンドで見られるサービスというのがあります。法制度の課

には多様な仕事があり、色々な個性の職員が、森羅万象に向き合っています。一流の才能に出会うこともあれば、平凡だけどすごく誠実に生きている人に心をうたれることもあり、社会を動かす出来事を目の当たりにすることも。そういう出会いと刺激に満ちた職場だと思えます。寝食を忘れることなく簡単にできちゃう(笑)

— それから、自分の「社会の役にたきたい」というような青臭い倫理観を、ぶれずに出せること。人が喜んでくれて嬉しいとか、腹が立つ世の中の不条理を解消したいとか、純粋な社会に対する姿勢が仕事と矛盾せず、貫き通せる環境がNHKにはあります。そんな魅力のある職場です。

【取材：斎藤景介】

日本放送協会 (NHK)

— それでは、受信料をお預かりするということ、それ故に保守的になるのではなく、逆にチャレンジしていかないといけないことだと思っています。やはり特定のスポンサーがついていると、そのためにお金を使わなければならないことがありますね。儲けが見込めないものは後回しになったり。それに対し受信料をお預かりしている私たちは、番組制作でも技術開発でも、商売の観点ではなく、視聴者の皆さんのためという観点で、新しいことに挑戦しなくてはならないと考えています。その意味では、民放の後を追いかけるのではなく、先導役になるという意識でやっています。

— これからのNHKが求める人材の



ハウス食品株式会社

ハウス食品の選考を受けて感じたのが、企業としてお客様に温かさを感じていただけるような商品を提供しつつも、社内では社員がチャレンジスピリッツを持ってバリバリ働いていたということです。その二つのバランスが魅力的だなと思ったのがきっかけです。製品の魅力と、生活に身近なものを提供しているの、自分の起こしたアクションが目に見えるところも魅力でした。

— 人事的なことをお伺いしたいと思います。企画や開発と言った部門は理系中心なのでしょうか。

いい質問ですね。一言で製品開発と言っても、そこにはコンセプト作り、市場調査、実際の製品の味作りなど本当に様々な仕事があるんです。製品に関わる研究、開発を行うのは理系の方が多くですが、その他の企画分野では文系の方も多く開発



ハウス食品株式会社 四十万谷 正和さん

平成18年4月入社、人事部 東京本社人事課に配属

変化するニーズに対応できる
「カラ破り人間」
求む！

— まずお聞きしたいのですが、御社の求める学生像とはどのようなものなのでしょうか。

ハウス食品では、採用テーマとして「カラ破り人間、求ム！」を掲げています。なぜかという、会社としてもこれからどんなカラを破っていく必要がある、それを担っていただける人材を求めているからなんです。皆さんが食品業界に対して抱くイメージには、景気に左右されない安定感というものがあるかもしれませんが、実は、実はこの業界は、今とても変化にさらされていて、それに対応して新しいことをやっていかなければ生き残れない状態にあるんです。だからこそ、自ら会社のカラを破って新しいことに挑戦し、変化に対応できる方に来ていただきたいと思っています。

— 入社時に配属部署の希望は通るのでしょうか。

自分のキャリアプランをしっかりと持っているという意味で、希望を言うのはいいことだと思います。ただ、営業・業務職の場合はほとんどの方がまず営業に配属になります。お客様が一番近く、また会社の仕組みがよくわかることから、ハウスの人材育成方針として、そうさせていまして、年1回の「自己申告制度」にて個人毎に希望をお聞きし、配属しています。

— 食品業界の今後の展望はどういったものなのでしょうか。

— 「カラ破り人間」がキーワードだということなのですが、実際選考においてどのようにカラ破り人間だと判断するのでしょうか。新しいことがしたいという学生なのではないか。

学生の皆さんに「カラ破り人間」というと、よく人と全く違うことをしていなければならないと受け取る方がいるのですが、実はそうではないんです。人と違うから良いというのではなく、入社後カラを破っていくという意志のある方を採用したいですね。カラと一言で言っても色々あります。例えば自分のやり方や考え方があったり、自分で決めてしまいがちな能力の限界などのカラがあると思うのですが、そのカラを破って今までと違う方法に挑戦したり、自分の能力の限界以上のことに挑戦していける人に入社していただきたいと思っています。また、常に自分で考えて行動してアクションを起こせる方にもお越しいただきたいです。

— 既存のカラを破り、挑戦したいという気持ちになにより大切なのですか。次に御社の社風を伺いたいのです。

私が実際に感じているのは、やはり「温かみ」があるということです。

— 今後は、市場の変化やお客様のニーズ素早く対応していくことがますます求められると思います。例えば、カップシチューやウコンの力、うるおい美率などの製品に代表されるように、個食化、即食化、お客様の求める価値の多様化などに対応していくためにはいけません。また、海外戦略にもますます力を入れて行く必要があると思います。ハウスの海外事業は現在、米国、中国を中心に展開していますが、今後アジア、ヨーロッパと、まさにこれから成長していく段階にあるんです。

— それでは最後に就職活動をしている学生にメッセージをお願いします。

私もそうだったのですが、就職活動を進めていくと、時にはうまくいかない時が出てくると思います。選考で落ちると自分の価値を否定され

ね。「おいしさとやすらぎを」というコピーレートメッセージからも想像できると思うのですが、実際に社内も好きな人が多く、温かみのある職場ですね。もうひとつ感じるのは、挑戦する人が多く、またそれができる環境があるということです。実はハウス食品は挑戦の企業で、昔から新しい分野の開拓にチャレンジしてきた歴史があるのですが、そのDNAが社内でも引き継がれているのだと思います。

— ハウス食品で働くことのやりがいや魅力は何でしょうか。

— 個人の意見なのですが、やはり自分自身が成長できる場所ですね。ハウスでは若手にも責任のある大きな仕事を任せてもらえるため、自分で仕事を運営していることや、自分自身が成長していることを体感できることが一番のやりがいです。また、常にチャレンジを続けていける環境、風土の中で仕事を行えることや、お客様の笑顔や食文化に貢献し、それを実感することができるといってもハウスならではのやりがいだと思っています。

— 四十万谷さんがハウス食品に入社しようと思ったきっかけを教えてください。

— たように思ってしまうが、ちだと思わぬのですが、そういう時でも自分を否定せずに前向きに頑張ってもらいたいですね。なぜかという、企業はその人が優秀かどうかだけではなく、その人が自分の会社に向いているか、その人がやりたい仕事ができるかを重視して判断しているからなんです。それを忘れずに頑張ってくださいですね。

【取材：井上万里枝】

特集2 学生生活特集

我が道を行く! 学生生活を120% 楽しむための方法 2007

「モラトリアム」とも形容されるように、大学生活は自由な時間に満ち溢れています。しかし、その自由な時間、上手に使えている学生がどれだけいるでしょうか。

勉強に遊びにアルバイト、サークル活動。全てやろうと思ったら、中途半端に終わってしまったというのはよくある話。

特集2では、学生生活を120パーセント満喫している学生さん取材。まさに「我が道」を行く、充実した学生生活の一例を紹介します。

取材 齋藤景介、笠井淳史



自転車で旅する学生

国際交流に励む学生
(日本エチオピア学生会議の皆さん)



地域交流に励む学生
(まっちワークグループ早稲田の皆さん)



難関資格習得を目指す学生



いつまでも、 架け橋でありたい。

創業から約20周年!

キャレンハウスは、

いつまでも自由な発想をモットーに、
学生と企業とキャンパスを結んでいます。

少しでも多くの高校生・大学生に、
「社会とは何か」を知ってもらうことが目的です。



一橋大学経済学部2年
都立戸山高校出身
小柳 元
大学1年の夏、
ベトナム旅行に行ってきました!

キャレンハウス 新人スタッフ紹介



キャレンスタッフ募集!

キャレンハウスでは、スタッフである学生1人1人に「どんな仕事をするのか」「どんなものを生み出すのか」が任されています。空いた時間に事務所に来れば、それが仕事開始の合図。そこから先は、あなた次第です。学生の自由な時間と発想を、少しだけ活用してみませんか?

募集:

大学生スタッフ(若干名)

対象:

東京・京都にある事務所に通える大学生
(特に1~2年生)

主な仕事内容:

紀伊國屋ブックセンターニュースの企画・編集・
営業、ビジネス誌のPR補助、書籍の編集補助、
書籍の広告制作、キャレンハウス主催の就活
セミナーの運営など。

希望する人柄:

積極的にトライする気持ちのある方・責任感
のある方・遊び心のある方

●応募方法

お名前、電話番号、応募の動機を記入の上、
info@carenhouse.co.jpまでご連絡ください。

—大学では何を学んでいる?

経済学を勉強しています。授業のレベルは高く、ついていくのが大変です。

—サークルはどんな感じ?

大学からテニスを始めました。サークルのレベルは高く、ついていくのが大変です。

—高校時代頑張ったことは?

文化祭に向けて映画を撮ったことです。監督・脚本を担当しました。高校生活で一番熱い3ヶ月でしたね。今仲がよい友達も、共に映画を作ったメンバーが多いです。

—受験は大変だった?大学選びのポイントは?

一浪しているんで楽だったとは言えないですね…。現役の時は理系だったんですけど、マスコミに興味を沸かせてきたので、4月に文転しました。1年間で世界史を叩き込むのには結構苦労しましたね。文系の大学を考えた時、お金のからない国立で、なおかつ地歴が1科目で受験できたので、この大学を選びました。(※2006年受験)

—将来の夢はある?

マスコミ、金融、資格試験など興味は幅広くあるんですけど、まだ焦点は定まっていません。就活が始まるまでの残り1年間で、コレというものに出会いたいです。

—キャレンに入った理由は?

マスコミの仕事を、学生の内から実際に体験できる方針に惹かれたからです。広告制作をやってみたい。

—紀伊國屋ブックセンターニュースを読んでくれている高校生に一言お願いします。

今思えば高校時代にしか出来なかったことってたくさんあったような気がします。大学でもできることは大学であればいい。高校生ならではの学生生活に励んでください。

CAREN キャレンハウス

URL <http://www.carenhouse.co.jp>

我が道を行く！
学生生活を120%
楽しむための方法 2007

“自転車旅する学生”



清水さんの愛車はシラスという車種。軽く、持ち運びに便利。平地での平均時速は45km。今までの総走行距離はおよそ7000km。

東京理科大学3年 チャリダー 清水英明さん

大学生生活の醍醐味と言えは夏季の長期休業。合宿や海外旅行など、多くの学生がそれぞれの夏休みを満喫します。そんな中、清水さんは国内での自転車旅行にこだわります。自転車旅行の魅力とは一体なんなのでしょう。

取材の日、清水さんは白い愛車に乗ってやってきました。どこに行くにも自転車という清水さんは、根っからのチャリダー（自転車乗りの通称）。この夏は、北海道を自転車で巡りました。

【取材：笠井淳史】

「タイヤが細くて、かっこいい自転車ですね。この自転車、北海道までどうやって持って行ったんですか？」

分解して、小さいで持って行きました（笑）。できるだけ余計なお金をかけずに旅したので、青春18きっぷを使って、鈍行列車に乗って行くんです。2日かけて北海道まで行きました。

「北海道に着くまでに疲れてしまいそうですね（笑）。なぜ自転車で北海道を走ろうと思ったのですか？」

今まで鎌倉、日光、草津温泉、四国と色々な地を自転車で旅してきましたが、やはり北海道の優雅な自然と大地は、チャリダーにとって魅力的です。実は昨年北海道に行ってきたんです。昨年は登別から襟裳岬まで、東に向かって走りました。ですから今年は気分を変え、稚内から札幌まで、日本海沿いを南下するルートを辿ることにしました。

「そんなに長い距離を走るとなると、1日では完走できないと思いますが、宿などはどうしているのでしょうか？」

ライダーハウスがあればそこに泊まりますが、基本的に野宿です。今回の旅ではテントもなく、寝袋ひとつで泊まりました。星空の下での野宿はいいですよ。キャンプ用のコンロを持っていて、自炊もします。今年の北海道の旅では、バスタを持参し、茹でたりしました。

「本格的ですね。今回の旅で、苦労することなどありましたか？」

夏の焼けるような日差しは辛かったですね。昨年初めて行った時には水ぶ

くれができるほど日焼けしてしまいました。今年は昨年の反省を活かし、日焼け対策を入念にしましたが、それでも大変でした。

それと、海沿いを走ったので、浜風が辛かったです。向かい風の時は普段の半分程度の速度でもませんでした。坂道や峠道も多く、わりと困難でしたね。この旅を通して、自然の恩恵だけでなく、自然の脅威も感じました。同行していた友人は蜂に刺されました（笑）。

「楽しいだけの旅ではないんですね。旅のハイライトを教えてください。」

色々ありますが、宗谷岬での日の出は素晴らしいです。早朝3時に稚内を出発して、幻想的な朝もやの中を走ったのですが、日本の最北端に向かっていくんだと思うと気分が高揚しました。ロシア語の道路標識などが見られたのも印象的でした。

もうひとつ挙げるなら、ゴール地点の札幌の夜景を丘の上から見た時でしょうか。1日に100km以上走ることもあったハードで楽しかった旅が、もうすぐ終わるんだと思うと、胸がいっぱいになりました。

「私も旅をしなくなってしまいました。自転車旅することの魅力教えてください。」

車や他の乗り物と違う点は、走行中にじっくり風景を楽しめることです。風や気候を体でリアルに感じる事ができるんです。疲れる分だけ、走り終わった後の達成感は格別です。また、車では入れないような細い道を走れたり、細かい制限が少ないことも自転車の魅力だと思います。

それと、人とのふれあいですね。走っている際、すれ違ったライダーやチャリダーに手を振ってもらったり挨拶されたり。それだけで元気をもらえます。ライダーハウスでは、多くの人と知り合い、旅の話をします。また、見知らぬ大人に食糧を分けていただいたり、旅先での出会いって本当にいいものですよ。普段の都会生活では得られないような、人のぬくもりや優しさを実感することができます。

「夢中になって楽しめる趣味があるのは素晴らしいことです。この先、どういった学生生活を送っていきますか？」

今年から来年にかけては就職活動です。4年次には研究室に入ります。おそらく無機化学を専攻することになるかと思っています。自転車の旅はこれからも続けていきたいですね。こういった長期の旅は学生の間にしかできないことなので、今まで思う存分できて良かったです。次に旅してみたいところは九州ですかね。道幅が広いところがいい（笑）。

チャリダー清水さんの旅の行程

1日目 深夜、友人2名と共に東京を出発。夜行列車に揺られ新潟まで。途中で大雨に降られ、予定していた北海道入りはならず。青森県は蟹田のマンガ喫茶にて宿泊。

2日目 北海道（木古内）入り。函館で海鮮料理を食べる。電車で滝川まで行き、滝川にて野宿。

3日目 朝、見知らぬ女性からバナナを恵まれる。旭川を経由し、自転車の旅のスタート地点である稚内に到着。稚内のライダーハウスにて宿泊。

4日目 自転車の旅スタート。早朝、宗谷岬に日の出を見に行く。その後、稚内に戻り、ゴールの札幌に向かって南下。この日はノシャップ岬のライダーハウスにて宿泊。夕食はウニ丼。この日の走行距離およそ70km。

5日目 ひたすら南進。初山別（しょさんべつ）にて野宿。温泉施設を見つけ入浴する。この日の走行距離およそ110km。

6日目 向かい風が強く、思うように進まず。日中は体力の消耗が激しいので、昼寝をしたり温泉に入るなど、思い切って休憩する。陽が沈んでから踏ん張り、増毛（ましけ）にて野宿。この日の走行距離およそ90km。

7日目 山越えをする。厳しい坂道を越え、深夜1時、ついにゴール地である札幌に到着。この日だけで120km走る。市内のマンガ喫茶にて宿泊。

8日目 札幌を観光する。寿司・スープカレー・牛乳などを堪能。前日と同じマンガ喫茶にて宿泊。

9日目 北海道を発つ。この日は青森の蟹田にて野宿。

10日目 鈍行列車を乗り継ぎ、15時間かけて自宅到着。全行程でかかった総費用はなんと6万円弱。



宗谷岬へ

列車にも乗ります



5日目の野宿場所



北の大地



宗谷岬にて



特集2 学生生活特集
我が道を行く！
学生生活を120%
楽しむための方法 2007

“国際交流に励む学生” 日本エチオピア学生会議の皆さん

大学に入って国際交流をやりたいと思う学生は多いかもしれません。でもそのほとんどはアメリカやイギリス等先進国との交流を望む人ではないでしょうか。そんな中で取敢てエチオピアと交流することで自分の可能性を広げようとする学生団体、「日本エチオピア学生会議」が昨年結成されました。エチオピアとの交流系学生サークルとしては、初めての試みです。

今回は会議の創設者であり、代表の神谷伸彦さんを中心に、参加メンバーの大頭さん、多々見さん、蓬田さんに創設時のエピソードや活動に対する思いについてお話を伺いました。

【取材：斎藤景介】



エチオピア学生会議の皆さん
左から大頭さん、蓬田さん、
神谷さん、多々見さん

—最初に設立の経緯について伺わせてください。

神谷さん…設立は一昨年の8月のことです。僕は当時色々な講演会や勉強会に参加していたんですが、ある時、山元雅信さんという、毎月様々な国の駐日大使をゲストとした講演会を開いている方に出会ったんですね。山元さんは世界各国に対して日本の学生会議を作ろうという壮大な計画をお持ちの方で、その一環で、「エチオピアの学生会議が無いから、君やってみなさい」という風に持ちかけられたのが、設立のきっかけです。僕はその時は海外経験もないし、エチオピアのこともよく知らなかったんですが、次の機会に山元さんに会った時にはもうエチオピア大使を紹介されて、握手して、よろしくと頼まれてしまってます（笑）

—どんな活動から始めたら良かったですか。

神谷さん…当初は何より会議の参加メンバーが少なかったもので、とにかくメンバー集めから始めました。毎年10月に行われる「エチオピアナイト」という交流イベントに参加したり、エチオピアダンス教室に通ったりして人脈を広げつつ、2006年4月には新歓活動も行いました。自分達でイベントをやるようになる内に、地道に一人一

人メンバーを増やしてきました。

—どんなイベントを開催されたんですか。

神谷さん…まず、2006年7月にエチオピア大使館で行われた大学生向けのイベントをプロデュースしました。大使館の方にエチオピアの紹介やコーヒの煎れ方のレクチャーをしてもらったり、エチオピアダンスをみんなが踊ったりするイベントです。

—楽しそうですね。

神谷さん…ええ。自分たちで宣伝もして、30人近くの学生に参加していただきました。11月には学園祭でエチオピアコーヒを売ってみようということになり、やってみたら、すごいバカ売れして！（笑）

一方で年度末にはエチオピアに行く事になっていたので、その準備として勉強会も数回開きました。その時には「エチオピア大百科」というのを作って、エチオピア基礎知識をみんなで勉強しました。

—拝見しましたが、すごい情報量です



エチオピアに訪問。訪問先の村の方たちとの一コマ



「ほら、ここに写ってるでしょー」



現地で行動を共にしたエチオピアの学生たち

ね。すごい手間がかかっていると思いますが…。

神谷さん…年末年始はこれにかかりきりでしたね（笑）でも成果として提出することで、助成金も頂く事ができ、活動していく上で自信にもなっています。

そういう経緯で、ついに今年の2月に現地に訪問することができました。我々は本会議と呼んでいるんですが、主な目的はエチオピアの学生との交流ですね。一方でエチオピアの現状を知るために、農村の教育を援助するNGOや、JICAの農業系プロジェクトに訪問し、またコーヒー農園や青年海

外協力隊の方の現地の学校での活動も見学しました。

—みなさん本会議等を通してエチオピアの方と交流を持つことが多いと思うんですが、エチオピアってどんな人が多いんですか？

神谷さん…のんびりした人が多いです。時間の流れがやっぱり違うんですね。時間が余っているから、時間の価値が低いというか。

多々見さん…「タイムイズマネー」って向こうの人に言ったら、爆笑されましたよ（笑）

大頭さん…僕らが走っている所を見ても、爆笑してましたね。「あいつ何であんな急いでるんだ」って（笑）

—それも素敵な考え方ですね（笑）異文化交流するときに、仲良くなる秘訣というのはありましたか。

神谷さん…仲良くなるのに難しさは余り感じませんでしたが、秘訣があるとしたら、ひとつはエチオピアダンスかな。やると向こうの人は喜んでくれましたね。あとは現地の言葉を使うとか現地の話をするとかかな。現地の名前を言うこともいいですね。僕は現地で「タムラット」、英語で「ミラクル」と

いう意味を持つ名前をもらったんですが、そうすると一挙に距離が縮まったと感じました。

大頭さん…現地の人との交流の上で、価値観の違いというのはありますね。でも違いがあるのを分かった上で、同じ所があるというのを見てあげるのが良いと思います。例えば僕は政治経済に興味があるし、向こうの人もそうだという風に共通点を見つけていけたら、絶対仲良くなれると感じました。

—みなさんが活動する上での動機としてはどんな思いを持ってらっしゃいますか。

蓬田さん…僕は今年の6月に入ったばかりですが、発展途上国の支援活動にすく興味を持っています。ただ高校の頃アメリカに留学していた時に、国際社会での日本の存在感が本場に薄いなどということを実感して、だから支援そのものにも興味はあるんですが、特に国際交流を通して日本という国の存在感をアピールできるような交流のあり方を探ることに興味を持っています。

多々見さん…僕は参加した国際協力についてよりも、むしろ学生会議という団体のあり方に興味があって参加しました。ただ、活動を通して行くうちに、エチオピアに対しての思いも強くなっ

て。僕は近い将来経営者になるという目標があるのですが、エチオピアに行ってみたら、道路の舗装事業やコーヒー事業など、ビジネスチャンスと見える部分がいっぱいあるんですね。だから今は経営の勉強をして、将来会社を設立したときには是非エチオピアに進出したいと考えています。支援という面からでもODAなど色々な形がありますが、企業の努力で利益を出しつつ、現地のために活動することが手っ取り早いし効果的だと思うんです。

神谷さん…活動や支援に対する思いは、それぞれですね。僕自身も、エチオピアは最貧国なので支援に関して何とか

したいなという気持ちはありますが、一方で純粋な興味の部分で、エチオピアは一度も植民地化されたことがなく、とても歴史の深い国ですから、文化的な面も積極的に学びたいと思っっています。それにアメリカとかイギリスとか皆行って勉強するじゃないですか。せっかくなら誰も行かない極端な所に行った方が、視野が広がるかなと思って（笑）

支援については、本会議は一方的な援助関係とは異なる、学生による対等な関係を構築することを目的の一つとしています。パートナーシップという表現がいいのかもしれない。

大頭さん…日本を助け、アフリカを助けることが重要だと思います。アフリカの人は貧しい貧しいって言うけど、どいつも笑顔で、そういう部分は日本とは違う、日本人も学ぶべき所だと思います。かと言って、笑顔だとしても生活が苦しい人はいるわけで、そこは何とかしなくちゃいけない。ただ「助ける」という言葉自体も僕はあまり好きじゃなくて、お金をただ渡すのではなく、ちゃんと働いてもらうことが大事ですね。



コーヒー豆の選別を行う女性たち



農村学校の授業風景



現地の農村学校

「日本エチオピア学生会議」の活動についてのより詳しい情報は、公式ホームページをご覧ください。
<http://www.ac.cyberhome.ne.jp/etiopia/>

特集2 学生生活特集
我が道を行く！
学生生活を120%
楽しむための方法 2007

“地域交流に励む学生”

まっちワークグループ早稲田の皆さん

全国でも有数の規模の学生街、東京・早稲田。ここで特徴ある活発な地域交流活動を行っているとして注目されているサークルがあります。早稲田大学の公認サークル「まっちワークグループ早稲田」です。まっちワークグループ早稲田は“早稲田のまち”を舞台に、地域交流とまちづくりをテーマに活動する学生団体で、現在は早稲田大学の他、他大学の学生も含め15人弱のメンバーが在籍されています。

代表の吉崎智博さん、副代表の高木裕美さんに地域交流サークルの活動内容とその魅力について、お話を伺いました。【取材：斎藤景介】



まっちワークグループ早稲田の吉崎さん、高木さん（左から）

—まずまっちワークグループ早稲田の活動内容について伺わせて下さい。

吉崎さん…まっちワークグループ早稲田の活動には三本の柱があります。その1つ目が環境をテーマにした地域のイベントである「早稲田地球感謝祭」を、まちの人たちと一緒に運営することです。地球感謝祭は毎年9月に行われる、早稲田大学周辺商店連合会が主催のお祭りです。早稲田大学周辺の商店街にとって9月は、普段は約5万人にも上る学生や大学関係者という客層が夏休みで来なくなり、寂しい時期なんです。それを盛り上げるためにできたのがこのイベントです。

毎年、「安心安全」や「防災」等、地域の一人一人が考えるべきことをテーマにして、地域の人たちが来場者として楽しめ、運営側にも参加できるイベントとして開催されています。来場者として約3万人が参加する大きなイベントです。そこに興味を持った、まっちワークの学生が関わるようになり、今は一緒に活動しています。私たちが担当しているのは主にコーナーを取り仕切る役目や、自分たちがやりたい企画を実現させることです。

—「自身が関わった企画で印象に残っているものはありますか。」

吉崎さん…僕は昨年の感謝祭の最後の

グラウンドフィナーレを企画したんですが、商店街の方たちと学生たちと一緒に、風になりたい（the Boomの曲）が歌いたくて、頼み込んでバンドを組んで貰い、実際にみんなが歌いました。それまでも商店街の人たちと関わりはあったんですが、1つの事を一緒にやることもと密に関ることがいいですね。その後もお店に行くと思えばいい話ができるのがうれしです。

他にもコンテンツとしては防災コーナーでAEDの取り扱い方を劇形式でやったり、車いすの生活を健常者の子供にも擬似的に体験してもらったり、自分たちが興味を持つ企画にそれぞれ思いで携わっています。

—いい思い出になりそうですね。二本目の柱はどんな活動ですか。

高木さん…二本目の柱は、自分たちが考えた企画をまちの人たちと協力して実践するタイプの活動の1つで、「防災キャンプ」というイベントを運営することです。小学生の子供たちに災害時の避難場所になっている小学校の体育館に泊まり込んで、避難所体験してもらおうという企画です。

—小学校に泊まるんですか。

高木さん…はい。寝る時も体育館のマットにシーツをかけて寝るんです。そ

れだけでも十分避難所体験にはなるんですが、その他にも自分たちのまちの防災について楽しく学べる様なコンテンツを用意しています。例えばみんなでまちを歩いて危険な所を探したりとか、消防団に入っている方のお家に伺って、活動の話の聞いたりとか、防災訓練に参加したりとか。

おく事で、自分だけじゃなくて周りも助け合える。そんな繋がりを学んでくれたらいいね、ということをごコンセプトに企画を作っていました。

「防災キャンプを運営していく上で気をつけていることはありますか。」

高木さん「お子さんを預かっているので、危機管理ということは徹底しています。夏の暑い時期なので、熱中症にならないように冷たいものを頻繁に飲



早稲田地球感謝祭の様子

ませるとか。特にこういう時はこんな危険があるというシミュレーションすることは自分たちでしっかり行っています。

また、その年のキャンプの様子の記録や反省点などはメンバー全員で必ず確認しています。それをまとめて一冊の報告書にして、毎年キャンプのために尽力してくださる、まちの人たちや損害保険協会の方、参加者の保護者の方たちに差し上げています。

「それが二本目の柱なんですね。」

吉崎さん「はい。そして最後の三本目の柱ですが、まっちワークでは自分たちが気づいたまちの魅力や、色々な人に知って欲しいことを「わせねっと」という冊子として、年に4回定期的に発行しています。6年くらい続けていますね。」

内容としては早稲田大学周辺のお店紹介だったり、お店のマスター紹介(インタビュー)だったりとか、大晦日の餅つき大会など地域のイベントの体験・PRなどを掲載しています。毎号1300部ほど刷って、商店街や小学校で配布しています。それから大学にも配りますね。他の学生に自分たちの身の回りの地域のイベントとかお店の魅力に興味もってくれたらいいなと思って。

「それが二本目の柱なんですね。」

「「わせねっと」を見て」「アジア料理シェフの人生」とか面白そうな記事ですね。」

高木さん「はい。それはメンバーの一人がその店でアルバイトしていた繋がりで取材をお願いしました。他にもまちの神主さんにインタビューしたりとか、結構マニアックなものも多いかも(笑)」

「身近な話題だけに詳細な方が興味を引かれる点ではありますね(笑) こうした三本柱のような活動していること、一番の目的というのはどこにあるんでしょうか。」

吉崎さん「メンバーそれぞれ色々な思いがあって、防災とか環境といった切り口で地域活動に関わっています。地域のイベント運営に参加してみたいという人もいれば、将来公務員としてまっちぐりに関わりたいと考えていて、そのためと思う人もいます。」

ただ、目的として大きいのは、学生生活のプラスアルファとして、せっかく大学の周囲にまちがあるんだから、そこと交流しながら楽しむことですね。イベント運営などを通して地域との繋がりを築いて、大事にしていく場を作って行きたいと考えています。大学の4年間を同年代の内輪だけで終わるのはもったいない。授業が終わった後す



早稲田地球感謝祭のチラシ

ぐ帰宅するんじゃないかと、途中で行きつけのお店のマスターと話したりなど、地域と積極的に関わっていけば、もっと毎日が楽しくなると思っています。

「サークル活動しているエピソードはありますか。」

高木さん「私は一昨年の地球感謝祭で、コーナりの1つのリーダーをさせていただいたんです。まだ右も左もわからない1年生だったんですが、企画を考えたり、出展者さんと連絡を取ったりしていくうちに、だんだん団体さんや出展者さんとも仲良くなれました。そうしてその年の感謝祭は無事終わりましたが、それから間もなく、宅配便で私の家に何かが届いて、「えっ」と開けてみたら、ある出展者さんが私にコーヒーカップを送ってくださったって書いていたんです。お礼と一緒にこれからもよろしくという様なコメントも頂いて、すごくびっくりして、感動しました。そういうつながりがいいねって思っています。」

「すごいなあ(笑) そういう人と人の繋がりは本当に財産になりますね。」

吉崎さん「まっちワークで出会った人は、忘れられないですね(笑)」

特集2 学生生活特集
我が道を行く！
学生生活を120%
楽しむための方法 2007



「防災キャンプ」にて。街を散歩しつつ防災を学ぶ

吉崎さん「あと実はまっちワークの先輩で在学中に婚約された方がいて、そ

「まっちワークグループ早稲田」の活動についてのより詳しい情報は、公式ホームページをご覧ください。
<http://blog.goo.ne.jp/match-work/>

“難関資格取得を目指す学生”

学生中に打ち立てたい目標はありますか。可能性が開かれすぎているあまり、特に「これ」といった大きな目標を持っている学生は意外と多くないでしょう。それも、目標に向かって実際に努力している学生となると、もっと少ないかもしれません。今回は税理士を目指す東上さんと、公認会計士を目指す塚田さんにお話を伺いました。週の大半を予備校生活に捧げるお二人の大学生活とは。そしてお二人の夢とはなんなのでしょう。難関資格取得を目指す学生へのインタビューです。

【取材：笠井淳史】

税理士を目指す・上智大学経済学部3年
東上晃之さん 資格の大原 税理士コース受講中



「税理士を目指している理由を教えてください。」
祖父が不動産関係の仕事をしていて、自分の事務所を持っていました。自分一人で事務所をきりもりしている祖父を見ていううちに、私も自分の事務所を持ち、経営したいと思ったのがきっかけです。日本の税理士の多くは独立開業し自分の事務所を持っているので、私もそのような開業税理士になりたいと思っています。

また、税理士資格の試験は、科目ごとに受験できるのも魅力でした。目の前にある目標をひとつずつクリアしていく方が私の性に合っていると思ったんです。税理士になるには5つの科目で合格が必要なのですが、今年の試験で2科目（簿記論、財務諸表論）を受験し、現在その結果待ちの状態なので、新たに2科目（法人税、消費税）の勉強を始めたところです。

「いつから資格勉強を始めたのですか。」
大学2年の春からです。色々な予備校を見学して、一番先生が魅力的だった今の予備校に決めました。思っていたより、資格勉強はきつかった。（笑）大学の単位は2年生までにしっかり取っておきたかったので、大学の授業との両立が大変でした。今は若干余裕もできアルバイトをしています。去年は忙しすぎてできなかったです。

「大学生活との両立は大変ですね。東上さんの勉強スタイルなどはあれば教えてください。」
バランスよく勉強することです。例えばの話ですが、週に二日だけ猛烈に勉強して、残りの日は全く勉強しないよりも、毎日コツコツと勉強する方が効率が良い気がします。

また、予備校では毎回、先生に質問をしています。授業中、何時間も集中力を保つには限界があるし、聞き逃したりすることもありますが、そういうところが面白いですね。

「日々の細やかな努力が大切なのですね。今後のビジョンを教えてください。」
今年の試験結果がまだでていないので詳しくはわかりませんが、来年の8月にある試験でできるだけ大学在学中に科目合格を増やしたいですね。その後は、会計事務所や税理士事務所を中心に就職活動を考えています。先輩などの話を聞くと、最近では実務経験のない学生でも内定がもらいやすくなっているようです。将来的には自分の事務所を持ち、多くの人や企業のお役に立ちたいと思っています。

「ダブルスクールをするなど、忙しい日々を送っている東上さんですが、学生生活を送る上での信条を教えてください。」
大学生という限られた今の時間を最大限に有効利用する、ということですかね。時間を有効に使えば、勉強漬けになることもなく、できることがもつと広がるはずです。目標に向かって努力をしつつも、幅広い視野を持つ人になりたいです。

「塚田さんは大学2年生ということですが、いつから公認会計士を目指しているのですか。」

大学に入る前から、公認会計士になりたいと思っていました。高校で簿記を学んでいたのが、会計に興味があったんです。単純に会計の勉強が好きなんです。会計の知識があれば、企業の奥深い内部を見ることができそうです。一見して似たような企業同士を比べてみても、経営の内部を見たら正反

対ということもあります。そういうところが面白いですね。

「では、資格勉強は楽しいですか。」
楽しいです。特に実践的な部分の勉強は好きですね。もちろん苦しい時もあります。けれど、自分が勉強している楽しくなければ続かないと思います。現在、ほぼ毎日予備校に通っています。友人と切磋琢磨しあい充実しています。

「毎日ですか（！）周りには遊んでいる学生さんも多いと思いますが、流石なところになったことはありませんか。」
ないと言えは嘘になりますが、今遊んでしまうと、この先の人生が中途半端になってしまう気がするんです。それに、周りには共に公認会計士を目指す友人も多いため、モチベーションは下がらないですね。

「毎日の勉強の中で、リフレッシュ方法などありますか。」

自宅では勉強しないことでしょうか。自宅で勉強すると、問題を掘り下げすぎて、徹夜になってしまうんです。ですから、自宅での時間は静養にあてています。予備校ならばいつでも先生や友人に聞くことができるので、一人で籠ってやるよりも刺激的だし、時間を効率的に使うことができると思います。

「理想の公認会計士はどのような人でしょうか。」

頼られる人だと思います。クライアントである企業などの外側からだけでなく、内側からも信頼される公認会計士になりたいです。そのためには、実務的な能力はもちろん、人格的にも優れている必要があると思います。

「そのような公認会計士になる為に、心がけていることはありますか。また、座右の銘などあれば教えてください。」
やはり合格しなければならぬので、日々努力ですね。それと、公認会計士に限らず、大学在学中は好きなことに一生懸命打ち込むことが大事なことではないでしょうか。私も、好きだから勉強を続けられているのだと思います。

座右の銘は「千里の道も一歩から」です。まだ予備校に通い始めて1年経ちませんが、在学中の合格に向けて一歩ずつ成長していけたら良いと思います。来年の5月の受験に向けて一歩一歩です。できることなら今すぐにも受験したいのですが（笑）

公認会計士を目指す・専修大学商学部2年
塚田純平さん 資格の大原 公認会計士コース受講中



特集2 学生生活特集
我が道を行く！
学生生活を120%
楽しむための方法 2007

圧倒的な実績を誇るIT専門校で

資格取得& 第一志望への就転職を実現

全く知識がゼロの方を対象に、IT業界に就転職・キャリアアップをするために必要な「Linux」「Java」「PHP」のスキルを効果的に習得します。これから就職活動を控えている大学生、働きながら学ぶ社会人の方を対象に他の人に圧倒的に差をつける本当のスキルの習得を目指していきます。



リナックスアカデミー

3大特色

- 1 日本初のLinux&Java&PHP教育専門スクール
- 2 実践的能力を身につける少人数クラス担任制
- 3 身についたスキルを資格で証明し、就転職を実現

スキルゼロからIT業界への就転職を実現する リナックスアカデミー6つのポイント

- 1 IT業界初心者も安心の事前学習プログラムで基礎から確実に習得。
- 2 授業は少人数クラス制。未経験から即戦力スキルを身につけるカリキュラム。
- 3 全ての資格に合格保証付。IT専門校の合格実績で資格取得をサポート。
- 4 授業以外の時間はフリートレーニング3年間無料開放。授業の予習復習に。
- 5 昼間部短期集中クラスや週末・夜間クラスなど生活スタイルに合わせた通学設定。
- 6 厚生労働省指定のキャリアカウンセラーが個別で就転職をサポート。

11/12/1 月生募集中! 昼間部クラス 平日夜クラス 週末クラス

開講コース一覧

※他にも各種コースがございます。詳細は下記Webサイトをご参照ください。

- ◆ CCNA資格合格保証コース 20回 50時間
- ◆ Linuxネットワークエンジニアコース 50回 125時間
- ◆ Java認定(SJC-P)資格合格保証コース 28回 70時間
- ◆ Javaデータベースエンジニアコース 50回 125時間
- ◆ PHPベーシックコース 16回 40時間
- ◆ LAMP・PHPプログラマーコース 50回 125時間

資料請求受付中!(無料発送)

スクールガイドを無料でお送りしています。下記フリーダイヤルまたはWebサイトからのご請求できます。

無料カウンセリング&授業体験セミナー実施中

無料カウンセリングを毎日実施しております。また、授業体験セミナーも行ってあります。フリーダイヤルまたはWebサイトにて受付けております。

リナックスアカデミー 検索

オープンソース教育100年構想™

リナックスアカデミー

0120-70-3727 [URL] www.linuxacademy.ne.jp
 携帯電話・PHSからでもご利用いただけます。 [Mail] info@linuxacademy.ne.jp
 無料カウンセリング毎日実施中 [携帯メール] la@kwml.jp
 詳しくはお気軽にお電話・メールでお問い合わせください。 件名:本文を入れずに送信してください。

ACCESS
 新宿駅西口の地上に出る。小田急百貨店を背にして右に直進。大きな交差点を直進して、サンクスの先の茶色いビル2F。
 〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-4-3 升本ビル2F

紀伊國屋書店店舗紹介「ららぽーと横浜店」



2007年3月15日、複合ショッピング施設「ららぽーと横浜」の3階フロアにてグランドオープン。地域に根ざした、あたたかみある新店舗を取材しました。【取材:笠井淳史】

■店舗のコンセプト

都心の駅前などに位置する「ターミナル型」の店舗が多い中で、ららぽーと横浜店は地域に根ざした「郊外型」の店舗である。客層は家族連れや主婦が多く、特に児童書の充実を力を入れている。児童書を取り扱った子供向きイベントも定期的に開催しており、親子が楽しみながら本に触れることができる。

また、大規模な複合ショッピング施設内にあるということもあり、映画館や雑貨屋など他の店舗との繋がりも大事にしている。例えば、映画館で放映されている映画と、その映画の原作である書籍の相互タイアップなどだ。店舗の枠を超えてコンテンツを楽しむことができる。

■客層

若い女性が多いように思われるが、先も述べた通り、ファミリー層も非常に多い。特に休日や祝日などは、車で遠方から来る人も多くいる。お母さんと子供がショッピングを楽しんでいる間、お父さんは書店で本を楽しむなど、幅広い楽しみ方があるようだ。

■店舗デザイン

シンガポールの建築家、ケイ・ニー・タン氏が設計した店内は、ゆったりとリラックスできるような、また、楽しみながら店内を巡れるような工夫が凝らされている。女性や子供を配慮し、書棚の高さは低めに抑えられ、天井は吹き抜けの天窓式。圧迫感のない、ゆとりある空間が大きく広がる。昼は天窓から陽の光が差し込み、あたたかみある雰囲気である。夜はライトアップされ、ムード溢れる店内となる。

また、ユニークなのは、8の字を描く独特の設計だ。ぐるっと廻りながら店内を歩いていると、まるで森の中を散歩しているような気分を味わう。書棚が環状に配置されているため、角度によって書棚の見え方が違ってくる。店内を何周かしてみると新しい発見があるかも。

■今後の展望

まだオープンから間もないが、ららぽーとという独特な施設内にあるということもあって、非常に個性豊かな店舗である。百貨店などよりも客層が若いことから、スタッフもフレッシュで、生き生きと仕事をしている。「郊外型店舗」、そして「複合商業施設内店舗」として、従来にないような新しいタイプの店舗モデルを確立することが今後の目標だ。



児童向けコーナー



開放感あふれる店内



8の字を描くよう真ん中で橋を渡している



書籍と映画のタイアップ



Sheraton Grande
TOKYO BAY HOTEL
Belong

Memories are invited. ご家族や古くからのお友達、気のおけない仲間だけと過ごすひとときのように。すべてのお客様に、心からくつろいでいただきたい。豊かな時間を楽しんでいただきたい。私たちは、そう願っています。Because you don't just stay here. You belong.

1-9 MAIHAMA, URAYASU, CHIBA 279-0031, JAPAN PHONE: (047) 355-5555 URL: <http://www.sheratontokyobay.co.jp>

**シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル
この冬おすすめの宿泊プラン**

アーリークリスマス / 2007年11月7日(水) ~ 12月20日(木)
客室：スタンダードルーム(3~5F) または スーペリアルーム(8~9F)
料金(1室1泊1名、朝食優待券・税金・サービス料込み、チェックイン17:00)
スタンダード ¥10,000~(ツイン) ¥8,000~(トリプル) ¥7,000~(フォース)
スーペリア ¥11,000~(ツイン) ¥9,000~(トリプル) ¥8,000~(フォース)

シェラトンウィンタースペシャル2008 / 2008年1月6日(日) ~ 3月19日(水)
客室：スタンダードルーム(3~5F)
料金(1室1泊1名、朝食・税金・サービス料込み、チェックイン15:00) ¥10,000
特典：3名1室でご利用の場合、オーシャンドリームルームへアップグレード。
4名1室でご利用の場合、オーシャンドリームルームへアップグレード。
さらにオアシスパズプレゼント(有料宿泊人数分)。



編集後記

言葉の価値ってなんでしょう。いつか得た感動も、言葉にしまうと途端に薄っぺらくなってしまいます。「楽しかった。」「美しかった。」「素晴らしかった。」「…何か違う。言葉によって表現できる限界があります。しかし、あの感動に少しでも言葉が追いつけるよう、努力することを忘れてはいけないのだと思います。

編集が思うように進まず、落ちこんでいる時、取材先の方々、周りの友人たちがパワーをくれました。この雑誌を作るのに、本当に多くの方のお力をいただきました。人と人の繋がりほど尊いものはありません。一期一会という言葉。人を次のステップへと動かす、力強い言葉です。

(早稲田大学3年 笠井淳史)

紀伊國屋書店
ブックセンターニュース
第13号

発 行：株式会社 紀伊國屋書店
〒150-8513
東京都渋谷区東3丁目13番11号
営業推進本部 営業企画部
ブックセンター課

企画・制作：キャレンハウス
制作進行担当：新川嘉代子

編集長：笠井淳史(早稲田大学3年)

編 集： 斎藤景介(東京大学3年)
櫻庭章浩(國學院大學3年)
澤村美菜(國學院大學3年)
御手洗久子(慶應義塾大学3年)
井上万里枝(千葉大学3年)
湊祥(千葉大学3年)
石野将大(明治学院大学3年)
村田菜美(早稲田大学1年)

デ ザ イ ン：藤井達也(fujiidesign)
印 刷：modernart

※本誌の写真・記事を無断で転載することを禁ずる
本誌についてのご意見・ご感想は
bcn@carenhouse.co.jp までお送りください。

紀伊國屋書店ブックセンター(B.C)全国71店舗一覧

高千穂大学B.C	〒168-0061 杉並区大宮2-19-1	(03)3315-4173
駒沢大学B.C	〒154-0012 世田谷区駒沢1-23-1	(03)3418-9177
成蹊学園B.C	〒180-0001 武蔵野市吉祥寺北町3-3-1	(042)236-0360
学習院女子大B.C	〒162-0052 新宿区戸山3-20-1	(03)3203-1912
いわき明星大学B.LC	〒970-8044 いわき市中央台飯野5丁目5-1 いわき明星大学 厚生館	(0246)28-6025
常磐大学B.C	〒310-0911 水戸市見和1丁目430-1	(029)232-0008
帝京平成大学B.C	〒290-0171 市原市潤井戸大谷2289-23	(0436)74-5567
東京情報大学B.C	〒265-0072 千葉市若葉区谷町1200-2	(043)236-0094
城西国際大学B.C	〒283-0002 東金市赤名1番地	(0475)53-0064
東京成徳大学B.C	〒276-0013 八千代市保品字中台谷2014	(0474)88-7118
麗澤大学B.C	〒277-0065 柏市光ヶ丘2-1-1	(0471)76-5512
和洋女子大学B.C	〒272-8533 市川市国府台2-3-1	(047)373-7266
帝京大学理工学部B.C	〒320-0003 宇都宮市豊郷台1-1	(028)625-8565
関東学園B.C	〒373-0034 太田市藤阿久200 関東学園大学食堂棟内	(0276)40-4012
城西大学B.C	〒350-0248 坂戸市けやき台1-1 城西大学新食堂棟内	(049)87-3261
明星大学B.C	〒191-0042 日野市程久保2-1-1	(0425)99-7121
明星大学青楓キャンパスB.C	〒198-0052 青梅市長瀬2-590	(0428)25-5100
明星学園購買部売店	〒183-8531 府中市栄町1-1	(042)368-5476
昭和薬科大学売店	〒194-0042 町田市東玉川学園3-3165	(042)724-0869
玉川学園購買部売店	〒194-8610 町田市玉川学園6-1-1	(042)739-8945
帝京科学大学B.C	〒409-0133 山梨県上野原市ハツ沢2525	(055)463-4542
東京家政学院売店	〒194-0211 町田市相原町2600	(042)782-9340
帝京大学薬学部B.C	〒199-0106 神奈川県津久井郡相模湖町寸沢嵐1091-1	(0426)85-1745
帝京大学B.C	〒192-0352 八王子市大塚359	(0426)70-7022
専修大学B.C	〒214-0033 川崎市多摩区東三田2-1-1	(044)933-0836
東洋英和B.C	〒226-0015 横浜市緑区三保町32	(045)922-5007
神奈川大学平塚キャンパスB.C	〒259-1205 平塚市土屋294 神奈川大学平塚キャンパス厚生棟内	(0463)59-4010
東海大学B.C	〒259-1292 平塚市北金目1117 8号館	(0463)50-1250
城西国際大学安房キャンパスB.C	〒299-2862 千葉県鴨川市太海1717	(04)7098-3116
日本大学三島B.C	〒411-8555 静岡県三島市文部2-31-145 日本大学国際関係学部4号館F	(055)989-6181
常葉学園大学B.C	〒420-0911 静岡県静岡市瀬名1-22-1	(054)263-3033
静岡理工科大学B.C	〒437-0032 静岡県袋井市豊沢2200-2	(0538)43-6125
鈴鹿医療科学大学B.C	〒510-0226 三重県鈴鹿市岸岡町1001-1	(059)383-9799
南山大学B.C	〒466-0824 名古屋市昭和区八雲町136 南山大学生会館コパン3F	(052)837-5201
愛知産業大学B.C	〒444-0005 愛知県岡崎市阿原山125 愛知産業大学 コミュニティ会館1F	(0564)48-4596
金沢医科大学B.C	〒920-0265 石川県北九所町大1丁目1番地 金沢医科大学臨床研究棟1F	(076)286-1874
大阪学院大学B.C	〒564-0011 吹田市岸部南2-36-1	(06)6318-2017
大阪薬科大学B.C	〒569-1041 高槻市奈佐原4-20-1	(072)690-1097
兵庫医科大学売店	〒663-8131 兵庫県西宮市武庫川町1-1	(0798)45-6446
武庫川学院B.C	〒663-8137 兵庫県西宮市池間町6-46 武庫川学院購買課内	(0798)44-2180
近畿大学B.C梅の木	〒577-8502 大阪府東大阪市小若江3-69	(06)6721-2660
近畿大学大阪狭山B.C	〒589-0014 大阪狭山市大野東377-2 近畿大学医学部内	(072)368-6190
大阪産業大学売店	〒574-0013 大東市中埴内3-1-1 大阪産業大学内 16号館3F	(072)871-4396
大阪国際大学ロキキャンパス売店	〒570-0014 大阪府守口市藤田町6-21-57	(06)6903-2550
帝塚山大学売店	〒631-0062 奈良市帝塚山7-1-1	(074)49-2533
大阪国際大学売店	〒573-0117 大阪府枚方市杉3丁目50-1	(072)858-0421
近畿大学(農学部)B.C	〒631-0052 奈良市中町3327-204	(074)43-0486
大阪工大B.C	〒535-8585 大阪市旭区大宮5-16-1	(06)6958-2000
摂南大学B.C	〒572-0074 寝屋川市池田中町17-8	(072)829-2591
摂大枚方B.C	〒573-0101 枚方市長尾崎町45-1	(072)867-1644
大工大北山B.C	〒573-0171 枚方市北山1-79-1	(072)857-9515
姫路獨協大学B.LC	〒670-8524 姫路市上大野7丁目2番1号	(079)22-0852
兵庫医療大学B.C	〒650-0045 兵庫県神戸市中央区港島1-3 P棟2F	(078)304-3116
山陽学園B.C	〒703-8501 岡山市平井1-14-1	(086)272-2294
安田学園B.C	〒731-0153 広島市安佐南区安東6丁目13-1	(082)878-9351
近畿大学東広島B.C	〒739-2115 東広島市高屋うめの間1番	(082)434-6884
広島文教女子大学B.C	〒731-0222 広島市安佐北区可部東1丁目2-1	(082)814-4611
広島市立大学B.C	〒731-3162 広島市安佐南区沼田町大塚151-5	(082)848-3413
西日本工業大学B.C	〒800-0394 福岡県京都郡苅田町新津1633-1	(093)25-2684
佐賀大学医学部B.C	〒849-0937 佐賀市瀬島5-1-1	(095)230-0652
福岡工業大学B.C	〒811-0214 福岡市東区和白東3-30-1	(092)608-5080
久留米工業大学B.C	〒830-0052 久留米市上津町2228-66	(094)222-7073
筑紫女学院B.C	〒818-0118 太宰府市石坂2-12-1	(092)929-4602
福岡経済大学B.C	〒818-0125 太宰府市五条3-11-25	(092)929-0285
九州大学伊都キャンパスB.C	〒819-0385 福岡県西元岡744番地	(092)807-3061
九州共立大学B.C	〒807-8585 北九州市八幡西区自由が丘1-8 自由が丘会館2F	(093)602-3171
第一薬科大学B.C	〒815-8511 福岡市南区玉川町22-1	(092)512-9113
日本理科大学B.C	〒870-0316 大分市一木1727-162	(0975)93-0955
活水女子大学B.C	〒850-0911 長崎市山手町1番50号	(095)828-6956
崇城大学B.C	〒860-0082 熊本市池田4-22-1	(096)323-1015
鹿児島国際大学B.C	〒891-0144 鹿児島市下福元町8850	(099)261-9951

●一部のブックセンターでは同紙掲載分の検定・講座のお取り扱いができませんのでご了承下さい。
●同誌掲載分の広告についてのお申し込みはブックセンターにて特別価格で受け付けをいたします。
●皆様からのご要望等がありましたら、ブックセンタースタッフにお気軽にお申し付け下さい。

就職活動中のあなた 時事通信社志望のあなた必見!!

PAPER NEWS いらずの就活 ミカタを変える! JIJI セミナー

2007.12.15(土) 開場:午後1時 開演:午後1時30分
終了予定:午後4時

第1部 ニュースの現場

- ・時事通信社 経済部デスク 境 克彦氏 (元ワシントン特派員)
- ・時事通信社 人事部 柳場 則了氏

第2部 JIJI-Web とは?

- ・WEB サイト「JIJI-Web」の活用法
- ・使用体験談



JIJI-Web

「時事通信社」って聞いたことありますか? 知らないという方、思い出してみてください。Yahoo! JAPANのニュース(一部)、JR山手線の「トレインチャンネル」、渋谷のQFRONTビルに流れているニュースを見たことはありませんか? 実はこれ、すべて時事通信社が配信しているニュースなんです。

時事通信社は、東京とニューヨーク、ロンドンの編集センターから、24時間情報を発信し、国内・海外のユーザーにリアルタイムで情報をお届けしています。刻々と飛び込んでくる最新ニュースは、全国紙、ブロック紙・県紙、NHK、民放キー局、出版社など、約140社の契約メディアへ一斉に送られて、新聞紙面や放送用に利用されるとともに、インターネットの情報サイトを通じて、一般読者にも直接届けられています。金融、証券市場の動きから、工業品、穀物、水産品などの商品相場、中央省庁や地方自治体の行政動向などあらゆるニュースを、企業や官公庁、各種団体など幅広い読者に発信しています。海外総支局約30カ所の取材網と提携の国際通信社から日々入電する膨大なニュース、写真を、契約社に配信している一方で、日本のニュースを英文で海外のメディアに配信もしており、「世界の動きを日本へ 日本を世界へ」という社是の実践に務めています。

時事通信社HP <http://www.jiji.com/>

第1部では、現役経済部デスクによる経済記事の見方、ニュースから企業を見分けるポイント、ワシントン駐在時代の話、人事部からは少しでも多くの方とお会いしたいという思いのもと、会場にお越しいただいた皆さんだけに人事部の本音をお送りします。

第2部では、JIJI-Webの使い方に加え、実際にJIJI-Webを使って就職活動をした大学4年生の体験談をご紹介します。

セミナー終了後、ご希望の方は時事通信社内を見学できます。

会場 時事通信社内
〒104-8178 東京都中央区銀座 5-15-8

参加費 1,000円 (消費税込み)
(先着 80名限定)

セミナーお申込先 キャレンハウス
TEL: 03-3251-8616 (お問い合わせ時間: 月～金 午前10時～午後5時) ※土・日・祭日休
FAX: 03-3251-8610 E-mail: info@carenhouse.co.jp
【E-mailにてお申し込みください】
お名前、連絡先(ご住所・電話番号)、大学名、学部、学年を明記の上、
info@carenhouse.co.jp宛、E-mailにてお申し込みください。



(最寄駅: 地下鉄銀座線 銀座駅下車 徒歩8分)

主催: キャレンハウス
後援: 時事通信社